

平成30年度（平成29年度対象）

教育委員会点検・評価報告書

平成30年10月

伊達市教育委員会

も く じ

1	はじめに	
(1)	趣旨	1
(2)	点検・評価の対象	
(3)	点検・評価の方法と評価区分	
(4)	点検・評価結果の構成	
2	教育委員会の活動状況	3
(1)	教育委員会による点検	
	○平成29年度教育委員会活動一覧	
(2)	項目別点検	
	①教育委員会会議	
	②視察・学校訪問	
	③各種市内行事、会議・研修会等への参加	
	④広報活動	
	⑤パブリックコメントの実施について	
3	「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価	10
(1)	学校教育	
	①社会で生きる実践的な力の育成	
	②豊かな心と健やかな体の育成	
	③信頼される学校づくりの推進	
	④安全・安心な教育環境づくりの推進	
(2)	社会教育	
	⑤ふるさと意識を育て地域づくりに参加する青少年教育の推進	
	⑥主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進	
(3)	芸術文化	
	⑦個性あふれ、潤いのある地域文化の創造	
	⑧芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進	
	⑨歴史・文化を活かしたまちづくりの推進	
(4)	スポーツ振興	
	⑩スポーツ・レクリエーション活動の振興	
(5)	達成度の評価一覧	
4	外部評価	50

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することとされました。

そこで、伊達市教育委員会では、平成20年度から、法改正の趣旨である、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、学識経験者の知見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、伊達市教育振興基本計画に掲げられた「取り組むべき主な施策」とし、その進捗管理を各実施事業の点検・評価結果を踏まえて行っています。

(3) 点検・評価の方法と評価区分（取り組むべき主な施策ごとの評価について）

点検・評価にあたっては、平成29年度に実施した事業・取組の状況を明らかにするとともに、今後における課題と対応方向を示し、達成・完了しているものを「A」、予定どおり進捗中のものを「B」、着手したが遅延しているもの、また、期待できるほど効果が上がっていないものを「C」、着手時期だが未着手のものを「D」、中止・大幅な見直し等が必要なものを「-」として表示しました。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方から意見、助言をいただきました。

(4) 点検・評価結果の構成

①取り組むべき主な施策

伊達市教育振興基本計画の教育目標に定めた、重点的に取り組む施策（37項目）です。

②推進方策

重点施策の分析を行い、抽出した課題解決のために設定した具体的な方策です。

③事業目的・取組事項

取り組むべき主な施策に基づく推進方策の事業目的及び取組事項を示しています。

④平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況

事業目的・取組事項に沿って平成29年度に実施した主な事業（取組）内容と実施状況を示しています。

⑤平成29年度の評価

平成29年度における事業（取組）の実施状況などを踏まえ、事業目的・取組事項に照らし合わせた評価を行っています。

⑥今後の課題と対応方向

今後の事業（取組）を進める上での課題と対応の方向を示しています。

また、取り組むべき主な施策の評価が「－」（中止・大幅な見直し等）の場合、その理由等を記載しています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

平成29年度の教育委員会の活動について、「教育委員会会議」「学校訪問」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行いました。

(1) 教育委員会による点検

教育委員会会議については、毎月1回、開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会（平成29年度は開催実績なし）があり、教育に関する様々な案件について検討し議決を行いました。

定例会については、開催予定や傍聴の案内、会議録等をホームページに掲載しました。また、定例会の開催に合わせて市内の学校を訪問し、意見交換等を行いました。

議案、協議事項の審議及び報告については厳正に行われました。また、委員からの情報提供や事務局からの事業の進捗状況及びその他の関連事項について、委員と事務局の間で意見交換が活発に行われました。さらに、必要に応じて事案の調査、研究、協議及び周知等を行うための委員協議会が開催されました。

以下、平成29年度の主な活動を示し、それぞれの活動内容について報告します。

○平成29年度教育委員会活動一覧

4月20日（木）	定例会
5月18日（木）	学校訪問（伊達西小学校） 定例会
6月22日（木）	定例会
7月27日（木）	定例会 委員協議会
8月17日（木）	定例会
9月28日（木）	噴火湾文化研究所訪問 定例会
10月26日（木）	定例会
11月16日（木）	定例会
12月14日（木）	定例会
1月25日（木）	定例会 委員協議会
2月8日（木）	定例会
3月22日（木）	定例会

(2) 項目別点検

①教育委員会会議

ア 議案について

「伊達市教育委員会事務委任規則」第2条により、教育長に対する事務委任は、次の各号に掲げるものを除き（次に掲げる事項は教育委員会会議での議決が必要）、その権限に属する事務を教育長に委任すると定められています。

また、第3条により、教育長の臨時代理は、第2条各号に掲げる事務（同条第2号に掲げる事務を除く。）について、緊急に処理する必要があり、かつ、教育委員会の会議を開くいとまがないと認められるときは、これを臨時に代理することができ、臨時代理したときは、その旨を直近の教育委員会の会議において報告しなければならないと定められています。

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針を決定すること。
- (2) 教育委員会規則及び教育委員会の定める訓令を制定し、又は改廃すること。
- (3) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を市長に申し出ること。
- (4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること。
- (5) 附属機関の委員を任免すること。
- (6) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (7) 特別支援教育推進委員会委員、スポーツ推進委員を委嘱すること。
- (8) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (9) 請願、陳情等を処理すること。
- (10) 附属機関に対して重要な諮問をすること。
- (11) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
- (12) 市文化財を指定し、又は解除すること。
- (13) 1件の予定価格100万円以上の教育財産の取得を市長に申し出ること。
- (14) 1件の予定価格100万円以上の工事の計画を策定すること。
- (15) 長の補助機関たる職員若しくは長の管理に属する行政機関の長に教育委員会の権限に属する事務の一部を委任し、又は補助執行させること。
- (16) 長の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任すること又は教育委員会の補助機関たる職員に補助執行させることに関する協議に対し同意等を行うこと。

上の表に従い、平成29年度の教育委員会会議にかけられた議案等について、それぞれがどの事項に該当するか、あらためて整理し、その妥当性、効率性といった観点から点検を行いました。

以下の表中右列の数字は、上の表の(1)～(16)の中から該当する番号を当てはめたものです。また、「その他」については、関係例規の規定に基づき審議すべき事案となっているもののほか、全体の場で検討、共通理解を図る必要があると判断されたものです。

また、議事終了後、各担当課による報告・協議が行われ、事業の実績・予定報告や付議前

の案件の事前説明、今日的な教育課題への対応策等について共通理解を図るとともに、活発な意見交換を行いました。

平成29年度の議案等については、規則に則って、適切に付議されています。

4月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	伊達市放課後子ども教室運営委員会設置規則	2
議案第2号	伊達市放課後子ども教室運営委員の任命について	5
議案第3号	伊達市社会教育委員の委嘱について	5
議案第4号	伊達市立学校運営協議会を設置する学校の指定について	4
議案第5号	伊達市立学校運営協議会委員の任命について	6
議案第6号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3
議案第7号	伊達市文化財審議会委員の委嘱について	5
報告第1号	臨時代理の報告について（伊達市立学校職員の平成29年4月1日付人事異動について）	6

5月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	伊達市特別支援教育推進委員会委員の委嘱について	7
議案第2号	伊達市特別支援教育推進委員会への諮問について	その他
議案第3号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3
議案第4号	伊達市立学校運営協議会を設置する学校の指定について	4
議案第5号	伊達市立学校運営協議会委員の任命について	6
報告第1号	臨時代理の報告について（平成29年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3

6月定例会

番 号	案 件	該当
報告第1号	臨時代理の報告について（平成29年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3

7月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3

7月委員協議会

番 号	案 件
協議第1号	教育委員会の点検・評価について

8月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	教育委員会の点検・評価について	8
議案第2号	（仮称）おおたき義務教育学校の設置等に係る基本方針（案）について	1
議案第3号	伊達市教育振興基本計画（平成23年度から平成30年度）の一部改訂について	1
議案第4号	伊達市立黄金小学校と東小学校の統合について	1
議案第5号	平成29年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載同意について	その他
議案第6号	伊達市いじめ重大事態調査委員会規則	2
議案第7号	伊達市教育委員会が設置する委員会等の委員等の報酬に関する規則の一部を改正する規則	2
議案第8号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3
議案第9号	だて歴史の杜食育センター条例	3
報告第1号	平成30年度使用小学校用教科用図書に規定する教科用図書の採択について	その他

9月定例会

番 号	案 件	該当
報告第1号	「平成29年度全国学力・学習状況調査」の伊達市における調査結果について	その他
報告第2号	臨時代理の報告について（平成29年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3
報告第3号	臨時代理の報告について（平成29年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3

10月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	伊達市立学校学校医等表彰規程に基づく被表彰者の決定について	その他
議案第2号	伊達市スポーツ推進委員の委嘱について	7
議案第3号	伊達市立学校通学区域施行規程の一部を改正する訓令	2
報告第1号	臨時代理の報告について（平成29年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3

11月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3

12月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載同意について	その他
議案第2号	伊達市学校給食センター（元町調理場）の学校給食に関する事務の委託に関する規約の変更について	その他
議案第3号	だて歴史の杜食育センター条例施行規則	2
議案第4号	伊達市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する訓令	2
報告第1号	平成30年度教育行政推進に関する予算について	その他
報告第2号	心身障がい児童生徒の適正就学について	その他
報告第3号	臨時代理の報告について（伊達市教育委員会事務局職員等の平成29年12月1日付人事異動について）	6
報告第4号	学校給食におけるうどん麺の一部への色素付着について	その他

1月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	伊達市立学校教育実践表彰規程に基づく被表彰者の決定について	その他
議案第2号	伊達市立学校運営協議会規則の一部を改正する規則	2
議案第3号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3
報告第1号	平成30年度教育行政推進に関する予算について	その他
報告第2号	平成29年度伊達市学力テストの結果について	その他

1月委員協議会

番 号	案 件
協議第1号	平成30年度教育行政執行方針（案）について

2月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	平成29年度伊達市一般会計補正予算（教育費関係予算）について	3
議案第2号	平成30年度教育行政執行方針について	1
議案第3号	だて歴史文化ミュージアム条例	3
議案第4号	伊達市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正に係る協議について	16
議案第5号	伊達市体育施設条例の一部を改正する条例	3

3月定例会

番 号	案 件	該当
議案第1号	平成30年度だて歴史の杜食育センター運営計画について	1
議案第2号	伊達市教育委員会行政組織規則等の一部を改正する等の規則	2
議案第3号	伊達市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令	2
議案第4号	伊達市立学校管理規則の一部を改正する規則	2
議案第5号	伊達市スポーツ推進委員の委嘱について	7
報告第1号	臨時代理の報告について（伊達市立学校職員の平成30年4月1日付人事異動について）	6
報告第2号	臨時代理の報告について（平成30年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3
報告第3号	臨時代理の報告について（伊達小学校体育館建設工事（建築主体）請負契約の締結について）	3
報告第4号	臨時代理の報告について（平成29年度伊達市一般会計予算（教育費関係予算）について）	3

イ 議事について

条例や規則改正、各種委員の承認等、事務的な手続によるもの以外については、各委員とも高い関心と問題意識を持った積極的な発言がありました。

また、情報提供等の活用により、スムーズに議事が進行されました。議案として取り扱う中、説明や資料提示の方法等を含めたメリハリのある議事運営に努めました。

②視察・学校訪問

教育委員会会議の開催に合わせて、平成29年度においては市内の小中学校を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で、その学校によさや抱えている課題などを把握することに努めました。

- ・平成29年5月18日 伊達西小学校

内容 授業参観、懇談等

観点 平成29年度の学校経営方針、特色ある学校活動等について

概要

学校の教育目標

学校経営及び学校運営

③各種市内行事、会議・研修会等への参加

市内小中学校の入学式・卒業式等や成人式に、教育長、各委員らが伊達市教育委員会を代表して出席しました。

また、各種会議・研修会等に各委員が出席しました。会議等の主なものは次のとおりです。

- ・平成29年7月31日

会議名 伊達市教育実践交流・研修会（伊達市）

- ・平成29年8月22日～8月23日

会議名 平成29年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会（稚内市）

- ・平成30年2月20日～2月21日

会議名 平成29年度胆振管内教育委員会委員研修会（洞爺湖町）

④広報活動

定期的に行っている教育委員会会議をはじめ、教育委員会の活動についての情報は、ホームページにより公開しました。今後もより一層市民の理解と協力を得るため、広報紙やホームページ等、既存のメディアについてその活用方法を工夫する必要があると考えています。

⑤パブリックコメントの実施について

広く市民の皆さまのご意見を伺いながら教育行政を執行するために、パブリックコメントを実施しました。平成29年度においては、次のとおり意見募集を行いました。

案 件 名	意 見 募 集 期 間	意見 の数	意見及び 市の回答公表日
「だて歴史文化ミュージアム条例 (案)」について	平成29年12月14日 ～平成30年1月12日	7	平成30年2月7日 市ホームページで 公表

3 「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価

「伊達市教育振興基本計画」で掲げた取り組むべき主な施策、推進方策に基づいて実施した事業及び取組について、各主管課及び教育委員会による内部評価を行い、今後の課題と方向を示しました。

(1) 学校教育

①社会で生きる実践的な力の育成

取り組むべき主な施策	確かな学力の向上をめざす教育の推進	達成度の評価	B																																								
推進方策	学力向上をめざす教育課程の編成・実施・評価、学習指導の工夫・改善、授業の改善に生かす評価の充実																																										
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査により児童生徒の学力や学習状況を把握しその結果の検証を図る。 ・一人一人が確かな学力を身に付けることを目的として学習指導の工夫・改善を図る。 ・児童生徒や保護者による授業評価を実施し、授業の改善と充実を図る。 																																											
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に全国学力・学習状況調査、12月に伊達市学力テストを実施 ・7月に伊達市教育実践交流・研修会を実施 ・児童生徒による授業評価と学習指導についての保護者評価を全ての小・中学校で実施 																																											
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力・学習改善プランを全ての学校で策定することにより学習指導の工夫改善が図られ、学力向上に資することができた。 ・全国学力・学習状況調査の平均正答率について、小学校では実施した4教科のうち国語A、国語B、算数Bが全国平均以上、算数Aが全国と同程度となっていた。中学校では実施した4教科すべて全国を上回っていた。なお、平成29年度については荒天により、日程を1日延期して実施している。 <table border="1" data-bbox="205 1384 1385 1680"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">計画策定時(H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>国語の授業がよく解かると答えた児童</td> <td>%</td> <td>75.0</td> <td>74.0</td> <td>79.7</td> <td>78.0</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>算数の授業がよく解かると答えた児童</td> <td>%</td> <td>73.6</td> <td>78.4</td> <td>79.0</td> <td>81.9</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>国語の授業がよく解かると答えた生徒</td> <td>%</td> <td>72.2</td> <td>79.2</td> <td>80.9</td> <td>80.3</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>数学の授業がよく解かると答えた生徒</td> <td>%</td> <td>59.7</td> <td>76.6</td> <td>70.6</td> <td>76.4</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)</p>				成果指標	単位	計画策定時(H21)	実績値			H30目標値	H27	H28	H29	小学校	国語の授業がよく解かると答えた児童	%	75.0	74.0	79.7	78.0	95.0	算数の授業がよく解かると答えた児童	%	73.6	78.4	79.0	81.9	85.0	中学校	国語の授業がよく解かると答えた生徒	%	72.2	79.2	80.9	80.3	95.0	数学の授業がよく解かると答えた生徒	%	59.7	76.6	70.6	76.4	80.0
成果指標	単位	計画策定時(H21)	実績値				H30目標値																																				
			H27	H28	H29																																						
小学校	国語の授業がよく解かると答えた児童	%	75.0	74.0	79.7	78.0	95.0																																				
	算数の授業がよく解かると答えた児童	%	73.6	78.4	79.0	81.9	85.0																																				
中学校	国語の授業がよく解かると答えた生徒	%	72.2	79.2	80.9	80.3	95.0																																				
	数学の授業がよく解かると答えた生徒	%	59.7	76.6	70.6	76.4	80.0																																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査結果および伊達市学力テストの結果を分析することで、学校ごとに学力・学習改善プランを作成し、継続して指導を行う必要がある。 ・今後も、教職員の授業に対する自己評価と、児童生徒や保護者による授業評価を比較分析することで学習指導の工夫・改善を図る必要がある。 ・授業評価について、項目の見直しを実態に応じて行う必要がある。 																																											

取り組むべき主な施策	特別支援教育の充実	達成度の評価	A																							
推進方策	一貫した支援をめざした特別支援教育の推進、特別支援教育推進体制の充実																									
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から中学校卒業まで一貫した支援のため幼稚園・保育所、学校、医療機関、関係する行政機関と連携しながら特別支援教育の推進を図る。 ・伊達市特別支援教育コーディネーターや伊達市専門家チーム会議の委員の知見を活用し特別支援教育体制の充実を図る。 																										
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童生徒の適正な就学措置 ・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用し、校種間における個別の教育支援計画等の円滑かつ効果的な引継ぎ ・障がいのある児童生徒の支援のための体制整備 ・伊達市特別支援教育コーディネーターによる学校訪問や伊達市専門家チーム会議による専門的助言 ・各学校に特別支援教育支援員15名・介護員18名を配置 																										
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達市特別支援教育推進委員会からの答申に基づき、伊達市特別支援教育コーディネーターや伊達市専門家チーム会議を活用することで、適正な措置決定をすることができた。 ・幼稚園・保育所、学校、医療機関、関係する行政機関と連携することで、教育的ニーズに対応した教育的支援を図ることができた。 ・必要に応じて、特別支援教育支援員・介護員を配置することで、児童生徒に学習支援や生活支援を行うことができた。 																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">個別の教育支援計画、指導計画を策定している割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>60.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	個別の教育支援計画、指導計画を策定している割合	小学校	%	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	60.0	100.0	100.0	100.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																			
			H27	H28	H29																					
個別の教育支援計画、指導計画を策定している割合	小学校	%	100.0	100.0	100.0	100.0																				
	中学校	%	60.0	100.0	100.0	100.0																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員及び介護員の配置については、より適正な配置となるよう児童生徒の障がいの程度に応じた適切な支援の在り方を検討していく必要がある。 ・教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を推進するため、今後とも、関係機関の連携を図る。 ・伊達市特別支援教育コーディネーターや伊達市専門家チーム会議の委員の知見を活用し、適正な措置決定をすることで、障がいのある児童生徒の自立や社会参加のための支援を継続する。 																										

取り組むべき主な施策	情報教育の充実	達成度の評価	B																														
推 進 方 策	情報教育の充実、情報教育設備の整備																																
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展等に伴い子どもたちが有害情報に適切に対応できる情報活用能力の育成と、発達段階に応じて情報機器を利用する際の情報モラルを身につけさせるための取組を推進する。 ・教育用コンピュータ等の機器及び教育用ソフトウェアの整備充実を図る。 																																	
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ等の情報通信機器の正しい利用方法についての指導を実施 ・各種パンフレットや学校便り等を通じて保護者への啓発を実施 ・北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動を活用 																																	
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に対する情報活用能力の育成や情報モラルの指導、情報機器活用のマナーなどネットトラブルの未然防止に向けた指導をすることができた。 ・北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動を行うことにより、ネットトラブルの未然防止に向けた指導をすることができた。 																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンピュータ1台当たりの 児童、生徒数</td> <td>小学校</td> <td>人/台</td> <td>12.6</td> <td>11.4</td> <td>11.4</td> <td>11.2</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>人/台</td> <td>8.0</td> <td>6.9</td> <td>6.8</td> <td>9.8</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>								成果指標		単位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	コンピュータ1台当たりの 児童、生徒数	小学校	人/台	12.6	11.4	11.4	11.2	8.0	中学校	人/台	8.0	6.9	6.8	9.8	9.0
成果指標		単位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値																										
				H27	H28	H29																											
コンピュータ1台当たりの 児童、生徒数	小学校	人/台	12.6	11.4	11.4	11.2	8.0																										
	中学校	人/台	8.0	6.9	6.8	9.8	9.0																										
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットトラブルや犯罪が増加しているため、保護者と連携した情報モラル教育を継続して行う。 ・インターネットを通じて行われる誹謗・中傷等については、北海道児童生徒ネットコミュニケーション見守り活動を継続することにより、早期発見・早期対応に努める。 ・発達段階に応じて情報活用能力を身に付けさせるための学習活動の推進を継続して行う。 																																	

取り組むべき主な施策	環境教育の推進	達成度の評価	A																							
推 進 方 策	環境問題への理解の促進、環境に対し行動する意欲や態度の育成																									
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験や社会体験活動を通じて、環境問題について総合的に考えることができるよう環境教育の取組を促進する。 ・日常生活のなかで日常的に省エネルギー問題に取り組むことの大切さを理解させるための学習機会を提供する。 																										
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等、教育活動全体を通して環境教育に関する学習を実施 																										
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境教育に関する学習を全ての学校で取り入れており、児童生徒が環境問題について考えることができた。 <table border="1" data-bbox="240 931 1353 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>70.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>14.3</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合	小学校	%	70.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	14.3	100.0	100.0	100.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																			
			H27	H28	H29																					
教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合	小学校	%	70.0	100.0	100.0	100.0																				
	中学校	%	14.3	100.0	100.0	100.0																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通して計画的に実施していくとともに、コミュニティ・スクール等を活用しながら継続する。 																										

取り組むべき主な施策	キャリア教育の推進	達成度の評価	C																									
推進方策	望ましい勤労観・職業観の育成																											
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発達段階に応じて、将来の社会的、職業的自立のための、必要な基盤となる能力や態度を育成する。 																												
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての小学校でキャリア教育の全体計画を作成 ・全ての中学校で教育課程に位置づけ、進路指導の全体計画を作成 																												
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科や総合的な学習の時間において、地域や事業所の見学、家族・身近な人の仕事調べ、職場体験学習を実施した。 																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策 定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童、生徒</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>89.6</td> <td>83.6</td> <td>79.4</td> <td>89.2</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>70.0</td> <td>66.2</td> <td>63.1</td> <td>65.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙）</p>				成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童、生徒	小学校	%	89.6	83.6	79.4	89.2	95.0	中学校	%	70.0	66.2	63.1	65.0	80.0
成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値				H30 目標値																					
			H27	H28	H29																							
「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童、生徒	小学校	%	89.6	83.6	79.4	89.2	95.0																					
	中学校	%	70.0	66.2	63.1	65.0	80.0																					
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校においては、地域の見学や家族・身近な人の仕事調べ等、発達段階に応じたキャリア教育を継続する。 ・中学校においては、小学校におけるキャリア教育の課題を踏まえ、教職員間で共通理解を図り、キャリア教育を継続する。 ・全ての学校が「伊達地区学校ネットワーク会議」に参加し、キャリア教育の情報収集や意見交換を行う。 ・中学校における職業見学や職業体験学習の充実を図り、進路に向けて意識の向上を図る。 ・小、中学校間のスムーズな接続を図る取り組みを充実する。 ・小学校の特別活動において、新学習指導要領に対応したキャリア教育計画の整備を進める。 																												

取り組むべき主な施策	国際理解教育の充実	達成度の評価	B																							
推進方策	外国語教育の充実、国際理解教育の充実																									
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>小学校では、学習指導要領に外国語活動が導入されたことを踏まえ、児童の興味・関心を高める指導方法の充実に取り組む。また、中学校では、外国語を通じてコミュニケーション能力の育成に取り組む。</p> <p>国際社会において主体的に行動できる能力を育成するため、姉妹都市との交流を通じて、異なる文化や習慣をもつ人々と協調して生きていく態度を培う。</p>																										
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A L T の学校派遣 小学校 239回、中学校 209回、その他 126回 ・ レイクカウチンとの交流事業 実績なし 																										
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>A L T の派遣については、ほぼ例年通り小中学校に派遣しており、外国語教育の活動において重要な役割を担っている。また、放課後児童クラブや保育所への派遣も増加傾向にあり、国際理解教育の充実が広がりつつある。</p> <table border="1" data-bbox="231 1032 1362 1285"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">英語の授業における英語指導助手の派遣回数</td> <td>小学校</td> <td>103回</td> <td>264回</td> <td>240回</td> <td>239回</td> <td>300回</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>293回</td> <td>261回</td> <td>216回</td> <td>209回</td> <td>200回</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標		計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	英語の授業における英語指導助手の派遣回数	小学校	103回	264回	240回	239回	300回	中学校	293回	261回	216回	209回	200回
成果指標		計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																			
			H27	H28	H29																					
英語の授業における英語指導助手の派遣回数	小学校	103回	264回	240回	239回	300回																				
	中学校	293回	261回	216回	209回	200回																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A L T の小学校派遣については、児童の外国語でのコミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育成するために、学級担任と連携しながら指導内容及び指導方法の充実を図っていく。 ・ 中学校においては、自分や他者の考えや気持ちなどを英語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業を展開できるよう、授業内容の工夫・改善を図っていく必要がある。 ・ 引き続き A L T の空き時間を利用し、放課後児童クラブ等への派遣継続に取り組む。 ・ レイクカウチンとの交流事業については、交流活動を通じ積極的なコミュニケーション能力の向上を図りながら、互いの文化や習慣など理解し合えるよう引き続き取り組む必要がある。 																										

取り組むべき主な施策	社会の変化に応じた高等学校教育の推進	達成度の評価	C															
推 進 方 策	高等学校の在り方の検討																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊達市の特色に応じた新しいタイプの学校の設置や特色ある教育課程の編成に向けて、北海道教育委員会に対して要望活動を行う。 																		
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内高等学校 への進学率</td> <td>54.4%</td> <td>52.3%</td> <td>53.4%</td> <td>49.0%</td> <td>60.0%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	市内高等学校 への進学率	54.4%	52.3%	53.4%	49.0%	60.0%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
市内高等学校 への進学率	54.4%	52.3%	53.4%	49.0%	60.0%													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道教育委員会が決定する「公立学校配置計画」に対しての継続的な要望活動には限界があることから、今後も公立高等学校配置計画地域別検討協議会において意見交換や情報収集に努める。 今後の急激な人口減少と少子高齢社会を迎えることから、市内高等学校の在り方について検討委員会を設置し意見を整理する。 道立高等学校長と市立学校長がそれぞれの課題について、意見交換や情報交換を行う。 																		

②豊かな心と健やかな体の育成

取り組むべき主な施策	幼稚園教育の充実	達成度の評価	—
推 進 方 策	保護者負担の軽減		
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園に通園する保護者の負担軽減を図り、幼児教育の振興に寄与するため、就園奨励費の補助を実施する。 			
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から子育て支援課へ事業は移行し、市長部局において引き続き、各家庭の所得状況に対し経済的負担軽減を図るよう適切な交付を行う。 			

取り組むべき主な施策	豊かな心を育む教育の推進	達成度の評価	A																									
推 進 方 策	道徳教育の充実、読書活動の推進																											
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域との連携を図り、地域の人材や本市が有する自然や歴史的風土等の多様な教育資源を活用して道徳教育の充実を図る。 ・想像力や考える習慣を身に付け、豊かな感性、情操、思いやりの心を育む上で重要な読書活動を推進する。 																												
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育全体計画を全ての学校で見直し、学年単位の道徳の年間指導計画を全ての学校で作成 ・「朝の読書」等の読書活動を全ての学校で実施。 																												
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の時間」の授業改善に向けた校内研修を全ての学校で実施した。 ・「道徳の時間」の授業公開を小学校8校、中学校2校で実施した。 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人が困っている時は進んで助け ていると答えた児童、生徒</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>75.0</td> <td>90.3</td> <td>84.1</td> <td>85.0</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>71.6</td> <td>94.8</td> <td>76.6</td> <td>80.0</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙)</p>				成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	人が困っている時は進んで助け ていると答えた児童、生徒	小学校	%	75.0	90.3	84.1	85.0	80.0	中学校	%	71.6	94.8	76.6	80.0	80.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																					
			H27	H28	H29																							
人が困っている時は進んで助け ていると答えた児童、生徒	小学校	%	75.0	90.3	84.1	85.0	80.0																					
	中学校	%	71.6	94.8	76.6	80.0	80.0																					
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化に向け、道徳教育推進教師を中心とした計画的な研修の推進が必要である。 ・全ての学校において、教科書をもとにした年間指導計画を整備する。 																												

取り組むべき主な施策	健やかな体を育てる教育の推進	達成度の評価	C																									
推 進 方 策	体育学習の充実、運動部活動、スポーツ少年団活動の充実																											
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力・運動能力調査結果を客観的に把握し、体育の授業を中心とした学校教育活動を通じて児童生徒の体力・運動能力を伸ばす。 ・中学校における運動部活動の円滑な実施と学校の枠を超えて行うスポーツ少年団活動の育成を図る。 																												
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月までに小学校5年、中学校2年を対象とした全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施。 ・小学校1年から中学校2年までの全学年で体力テストを実施し、全ての学校において児童生徒の実態に応じた「体力向上プラン」を作成し、体力・運動能力の向上に向けた指導を実施。 																												
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、小学校5年生では全8項目中、男子で5項目、女子で4項目、中学校2年生では全8項目中、男子で6項目、女子は2項目で全国平均を上回った。 																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策 定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スポーツをすることが好きと答えた児童、生徒数</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>76.4</td> <td>89.7</td> <td>90.7</td> <td>93.5</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>84.6</td> <td>83.8</td> <td>84.8</td> <td>81.1</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(全国運動能力・運動習慣等調査 児童・生徒質問紙)</p>				成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	スポーツをすることが好きと答えた児童、生徒数	小学校	%	76.4	89.7	90.7	93.5	95.0	中学校	%	84.6	83.8	84.8	81.1	95.0
成果指標	単 位	計画策 定時 (H21)	実績値				H30 目標値																					
			H27	H28	H29																							
スポーツをすることが好きと答えた児童、生徒数	小学校	%	76.4	89.7	90.7	93.5	95.0																					
	中学校	%	84.6	83.8	84.8	81.1	95.0																					
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、全ての学校において、児童生徒の実態に応じた「体力向上プラン」を作成し、指導を実施する。 ・次期学習指導要領改訂の内容をふまえ、心身の健康、保持増進や豊かなスポーツライフの実現に向けた指導の在り方について研修を深める。 																												

取り組むべき主な施策	体験的な学習・活動の充実		達成度の評価	B			
推進方策	体験的学習の充実						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が本物に触れることができる体験的な学習を充実させ、学校の教育活動全体を通して取り組む。 							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別活動や総合的な学習の時間等において、体験活動を重視した授業を全ての学校で行い、自然、勤労生産、社会奉仕にかかわる体験活動を実施 							
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の視点を取り入れた職業や就業にかかわる体験的学習を実施することができた。 							
成果指標		単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値
総合的な学習の時間において地域の 人材や自然環境など教育資源を 活かした授業	小学校	%	21.4	36.4	36.4	38.5	40.0
	中学校	%	14.7	25.3	27.5	29.7	30.0
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動全体を通じた体験的学習を継続する。 							

取り組むべき主な施策	食育・健康教育の推進	達成度の評価	C																				
推進方策	食育の推進、健康教育の充実																						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>児童生徒の発達段階に応じ健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけさせるため、食に関する指導を推進するとともに、体育や特別活動等を通じて各種感染症の予防やストレスへの対処法など、健康に関する知識を高め、学習指導の充実を図る。</p>																							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による食育指導の実施 小学校9校、中学校1校 ・健康診断の結果に基づく健康教育に関する授業を全ての学校で実施 ・健康・安全教育に関する指導を全ての学校で実施 ・アレルギーに係る研修会（エピペン実習）の実施 小学校10校、中学校4校（23人参加） 																							
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>全ての学校において、各校の養護教諭や栄養教諭を中心に各種保健指導やフッ化物洗口を実施する。引き続き、児童生徒の健康な身体の保持と増進のため今後も継続する。</p> <p>また、朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、小中学校共に昨年度を上回ったが、引き続き、保護者等の理解と協力が不可欠であることから、学校だより等を通じて地道な啓発活動を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="256 1240 1337 1435"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">朝食を毎日食べている児童生徒の割合</td> <td>小 96.5%</td> <td>小 91.8%</td> <td>小 91.5%</td> <td>小 96.9%</td> <td>小学校100%</td> </tr> <tr> <td>中 94.4%</td> <td>中 92.9%</td> <td>中 90.8%</td> <td>中 93.1%</td> <td>中学校100%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小 96.5%	小 91.8%	小 91.5%	小 96.9%	小学校100%	中 94.4%	中 92.9%	中 90.8%	中 93.1%	中学校100%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																	
		H27	H28	H29																			
朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小 96.5%	小 91.8%	小 91.5%	小 96.9%	小学校100%																		
	中 94.4%	中 92.9%	中 90.8%	中 93.1%	中学校100%																		
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている児童生徒の割合は高くなったものの、維持するためには、引き続き学校だより等を活用し、保護者向けへ「早寝早起き朝ごはん」などの健康に関する意識啓発を推進する。 ・児童生徒の望ましい食習慣の定着を図るため、栄養教諭未配置校に対する派遣事業を継続し、栄養教諭を中心とした特別活動や家庭科等の学習における食育指導の充実を図るとともに、学校と家庭が連携した食育の取組を推進する。 ・北海道教育委員会において「学校における食物アレルギー対応の進め方」が策定されたことから、学校や食育センターを中心にアレルギー有病児童生徒への対応の徹底を図る。 ・感染症の予防や対処法などの知識を高めるため、教職員向けに感染症予防研修を実施し、児童生徒への学習指導の充実を図る。 																							

取り組むべき主な施策	生徒指導・教育相談の充実	達成度の評価	B																																								
推進方策	生徒指導の充実、いじめへの取組の充実、不登校への取組の充実																																										
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で取り組む生徒指導体制を充実させる。 ・いじめの実態把握や相談・指導のための校内体制の充実と地域と連携した解決に向けた取組を充実させる。 ・不登校児童生徒へのきめ細やかな支援体制を充実させる。 																																											
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の実施、生徒指導全体計画の見直しを全ての学校で実施 ・北海道教育委員会によるいじめアンケート調査を市内の全児童生徒を対象に2回実施。 ・いじめの早期発見・解決に向けた校内研修を全ての学校で開催し、校内体制の充実を図り、取組みを実施 ・全校体制による不登校対策の取組として、教育相談、家庭訪問等を全ての学校で実施 ・不登校対策訪問アドバイザーによる学校訪問と家庭訪問 ・不登校児童生徒サポートハウスの運営（対象者12名） 																																											
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に子どもの様子や動きを注意深く見守り、生徒指導・教育相談を行うことができた。 ・北海道教育委員会によるいじめアンケート調査のほかに学校独自のいじめ調査を小学校4校、中学校2校で実施した。 ・長期欠席児童生徒は、前年度に比べ小学校では2名減の5名、中学校は1名減の19名であった。 ・積極的ないじめの認知のためのアンケート質問項目の文言が変更したことから、嫌な思いも含めいじめと認知し、幅広い認知につながった。 <table border="1" data-bbox="274 1332 1316 1626"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">不登校児童生徒の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>2.9</td> <td>2.3</td> <td>2.3</td> <td>2.2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">いじめにあった割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>1.8</td> <td>0.1</td> <td>8.4</td> <td>10.2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>0.5</td> <td>0.0</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	不登校児童生徒の割合	小学校	%	0.3	0.0	0.4	0.3	0.0	中学校	%	2.9	2.3	2.3	2.2	0.0	いじめにあった割合	小学校	%	1.8	0.1	8.4	10.2	0.0	中学校	%	0.5	0.0	0.1	0.1	0.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																																				
			H27	H28	H29																																						
不登校児童生徒の割合	小学校	%	0.3	0.0	0.4	0.3	0.0																																				
	中学校	%	2.9	2.3	2.3	2.2	0.0																																				
いじめにあった割合	小学校	%	1.8	0.1	8.4	10.2	0.0																																				
	中学校	%	0.5	0.0	0.1	0.1	0.0																																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長を中心とした全校体制による生徒指導・教育相談を充実強化する。 ・伊達市いじめ防止基本方針に則り、市全体で、いじめの未然防止や早期発見・早期解決のための取組を効果的に行う。 ・いじめ防止の根幹となる人権教育を推進する。 ・不登校児童生徒への関わりを不登校児童生徒サポートハウスを有効活用しながら進める。 																																											

③信頼される学校づくりの推進

取り組むべき主な施策	開かれた学校づくりの推進		達成度の評価	A																																									
推 進 方 策	学校評価・情報提供の促進、学校支援ボランティアなど地域人材の活用																																												
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域への教育活動への参画を促進するとともに、積極的な情報の発信等、開かれた学校づくりを図る。 ・学校支援ボランティアなど地域人材の活用を図る。 																																													
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒・保護者・教職員・学校評議員のアンケートによる学校関係者評価を実施 ・学校評価を学校便りやホームページを使って公表 ・地域に向けた公開授業をすべての学校で実施 ・地域人材を活用した教育活動を全ての学校で実施 ・学校運営協議会を通して地域へ情報発信する開かれた学校づくりの推進 																																													
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的で信頼性の高い学校関係者による学校評価を全ての学校で導入している。 ・学校評価の分析・公表が定着し、その結果について、全ての学校で次年度の学校経営計画に反映させている。 ・全ての学校がコミュニティ・スクールを導入し、地域や保護者の意見を学校運営に反映させることができた。 <table border="1" data-bbox="233 1249 1356 1545"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定 時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">学校を支援する地域組織を設置している学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>40.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>29.6</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>100.0</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学校運営協議会を設置している学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>90.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		単 位	計画策定 時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	学校を支援する地域組織を設置している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	29.6	60.0	60.0	100.0	60.0	学校運営協議会を設置している学校の割合	小学校	%	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0
成果指標		単 位	計画策定 時 (H21)	実績値					H30 目標値																																				
				H27	H28	H29																																							
学校を支援する地域組織を設置している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																						
	中学校	%	29.6	60.0	60.0	100.0	60.0																																						
学校運営協議会を設置している学校の割合	小学校	%	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																						
	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0																																						
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールを活用した、地域人材の活用を目指す。 ・学校運営協議会による、学校関係者評価等の充実、改善に向けた活動を行う。 																																													

取り組むべき主な施策	特色ある学校づくりの推進	達成度の評価	B				
推 進 方 策	地域に関する学習活動の推進						
≪事業目的・取組事項≫ ・本市の歴史的風土、伝統、文化など特色のある優れた歴史文化資源を活用した授業を展開する。							
≪平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況≫ ・地域の人材を活用した学習活動が行われ、地域の歴史、伝統や文化に触れる学習活動を実施							
≪平成29年度の評価≫ ・地域の特色ある教育資源を活用した授業により、地域への理解につながった。							
成果指標		単 位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値
				H27	H28	H29	
総合的な学習の時間において地域の 人材や自然環境など教育資源を 活かした授業	小学校	%	21.4	36.4	36.4	38.5	40.0
	中学校	%	14.7	25.3	27.5	29.7	30.0
≪今後の課題と対応方向≫ ・学校ごとに地域の特色ある教育資源を活用した授業を継続する。 ・地域の歴史的風土、伝統、文化などを学ぶ授業を継続する。							

取り組むべき主な施策	学校間の連携・接続の推進	達成度の評価	A																										
推進方策	幼稚園・保育所と小学校との連携に向けた取組、小学校と中学校との連携に向けた取組																												
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園から中学校までの子どもの発達段階にある子どもの小学校入学時、中学校入学時における学習のつまずき解消を目的に学校種間の連携・接続を図る。 																													
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所との交流、幼児の小学校への体験入学、指導要録等の引継ぎ時に情報交換を星の丘小学校を除く全ての小学校で実施 小学校との学習指導や生徒指導、授業研究会の交流を全ての中学校で実施 進学先の高等学校との情報交換を全ての中学校で実施 																													
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所と小学校、小学校と中学校との連携により、教職員相互の児童生徒理解が深まり、発達段階に応じた子どもへの対応につながった。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小中学校間での授業研究会・参観日を実施している学校の割合</td> <td>小学校</td> <td>%</td> <td>40.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>%</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標		単位	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	小中学校間での授業研究会・参観日を実施している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0
成果指標		単位	計画策定時 (H21)					実績値				H30 目標値																	
				H27	H28	H29																							
小中学校間での授業研究会・参観日を実施している学校の割合	小学校	%	40.0	100.0	100.0	100.0	100.0																						
	中学校	%	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0																						
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の道立学校を含めた学校種間の連携・接続を通して、教職員相互の児童生徒理解を深めるとともに、学習のつまずき等の解消を目的とした効果的な引継ぎを促進する。 																													

取り組むべき主な施策	教職員の資質向上	達成度の評価	B																				
推 進 方 策	管理職のリーダーシップによる学校組織の活性化、教職員の資質・能力の向上																						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の責任者としてリーダーシップを発揮する校長や教頭の管理職としての資質・能力を高め、学校組織の活性化を図る。 ・信頼され、優れた資質・能力を有する教職員の育成を図る。 																							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例校長会・定例教頭会を毎月1回開催、校長会・教頭会合同研修会を1回開催 ・胆振教育局義務教育指導監や指導主事、指導室による学校訪問を実施 ・伊達市教育実践交流・研修会を実施 ・伊達小学校を研究指定校に指定し、全教職員を対象に公開研究会を開催 																							
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や公開研究会等に参加することで、他の学校の取り組みについて交流することにより、資質・能力の向上を図ることができた。 <table border="1" data-bbox="225 1005 1366 1180"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21 現在値)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊達市教育実践交流・研修会に参加した教員の割合</td> <td>%</td> <td>27.6</td> <td>51.8</td> <td>63.3</td> <td>61.3</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table>							成果指標	単 位	計画策定時 (H21 現在値)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	伊達市教育実践交流・研修会に参加した教員の割合	%	27.6	51.8	63.3	61.3	80.0
成果指標	単 位	計画策定時 (H21 現在値)	実績値			H30 目標値																	
			H27	H28	H29																		
伊達市教育実践交流・研修会に参加した教員の割合	%	27.6	51.8	63.3	61.3	80.0																	
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質・能力の育成・向上を図ることを目的として、研修会等や学校訪問による指導・助言を通し、本市における教育課題の共有化、教職員の資質向上を図る。 ・今後も、研究指定校を輪番制で指定し、研究成果を公開研究会で発表することで学校の教育力を高める。 																							

④安全・安心な教育環境づくりの推進

取り組むべき主な施策	耐震化、防災機能の充実	達成度の評価	B																				
推 進 方 策	耐震性の確保を図る整備、学校施設の安全性の確保を図る整備																						
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>学校施設の耐震診断、耐震補強等を計画的に実施し、耐震性の確保と子どもたちや地域住民が安心して学校施設を利用できるよう施設の安全管理に努める。</p>																							
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>学校施設の安全性を高めるために、老朽化に対し改修工事や修繕を進め、過ごしやすい環境を整える。</p> <p>伊達小学校プラネタリウム屋上防水改修工事、伊達西小学校高圧開閉器改修工事、東小学校体育館外壁改修工事、光陵中学校校舎外壁改修工事、伊達中学校地下タンク通気管改修工事、他各箇所修繕を実施</p> <p>※耐震化率 小学校72% 中学校100%</p>																							
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>老朽化している施設・設備の改修工事や修繕の実施により、児童生徒の安全と、安心して学べる環境を確保できた。</p> <table border="1" data-bbox="225 1240 1366 1433"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">耐震化率</td> <td>小学校40.0%</td> <td>小学校72.0%</td> <td>小学校72.0%</td> <td>小学校72.0%</td> <td>小学校75.0%</td> </tr> <tr> <td>中学校92.0%</td> <td>中学校92.0%</td> <td>中学校92.0%</td> <td>中学校100%</td> <td>中学校100%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	耐震化率	小学校40.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校75.0%	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校100%	中学校100%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																	
		H27	H28	H29																			
耐震化率	小学校40.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校72.0%	小学校75.0%																		
	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校92.0%	中学校100%	中学校100%																		
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達小学校体育館については耐震強度不足であり、平成30年度から改築工事を行う。 ・非構造部材の耐震点検を進めるとともに、必要な修繕、改修を行う。 ・各学校とも施設、設備の老朽化が進んでいることから、学校統廃合の進捗状況を踏まえながら学校施設の耐震化や老朽化した施設の設備について、計画的な改修を行う。 																							

取り組むべき主な施策	学校の安全対策の充実	達成度の評価	A															
推 進 方 策	安全管理の徹底、地域ぐるみの学校安全体制整備の推進																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>災害による事故や通学路における交通事故を含めた学校事故防止のため、学校、家庭、地域と連携を図り、警察や消防の協力のもと訓練や指導を行うことで学校安全の徹底を図る。</p> <p>また、学校安全対策の充実のため、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室、防災・防犯教室を全ての学校（星の丘小中学校を除く）で実施 地域ボランティアとの連携・スクールガードリーダーによる通学路等の巡回指導の実施 88回実施（星の丘小を除く市内小学校） 伊達市通学路安全推進会議の設置 伊達市通学路安全推進会議を開催し、通学路における危険箇所の合同点検を実施 児童生徒の安全を図るため、黄金地区・稀府地区の通学路の一部に防犯灯を設置。 長和小学校では「北海道実践的安全教育モデル構築事業」として有珠山噴火に備え、学校と保護者が連携し引き渡し等の訓練を実施。 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>交通安全や防災・防犯については、日常的な指導や保護者向けの学校便り等による情報提供のほか、星の丘小中学校を除く全校で交通安全教室や防災・防犯教室が実施されたことにより、児童生徒の意識啓発が図られた。</p> <p>また、スクールガードリーダーの巡回指導により、不審者情報や危険箇所についての学校への迅速な情報提供、通学路パトロールボランティア等の活動といった地域ぐるみで児童生徒を見守る取組が広がりを見せている。</p> <p>更に、関係機関を構成員とする伊達市通学路安全推進会議を開催し、伊達市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路における危険箇所の合同点検を実施し、改善に向けた対策内容を決定した。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールガードリーダーの派遣指導回数</td> <td>24回</td> <td>88回</td> <td>88回</td> <td>88回</td> <td>88回</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	スクールガードリーダーの派遣指導回数	24回	88回	88回	88回	88回
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
スクールガードリーダーの派遣指導回数	24回	88回	88回	88回	88回													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> 犯罪から子どもを守るための対策として国が掲げた「緊急対策6項目」や大規模災害を教訓に策定された「学校安全の推進に関する計画」を参考にしながら、有珠山に近接する本市の地域特性を踏まえつつ、地域社会全体で学校安全に取り組む体制整備を引き続き推進する。 学校、保護者、関係機関を構成員とする伊達市通学路安全推進会議を開催し、通学路交通安全プログラムに基づく通学路の交通安全に関する取組を継続する。 また、児童生徒の安全を図るため、黄金地区・稀府地区の通学路の一部に防犯灯を設置する。 																		

取り組むべき主な施策	少子化に対応した学校適正配置の推進	達成度の評価	A																					
推 進 方 策	小学校、中学校の適正配置の推進																							
<p>《事業目的・取組事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化の状況、保護者や地域の意見等を踏まえた学校の適正配置を行い、活力ある学習環境を創出する。 																								
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大滝小学校と大滝中学校は、通学時間の問題から他の学校への統廃合が難しいため、保護者と地域の住民を対象に説明会を開催し、義務教育学校を平成31年度に設置することを決定。また、新たな学校を円滑に設置するため、設立準備協議会を設置した。 ・黄金小学校は、児童数が減少しているため、学習環境をより良いものにするため、保護者と地域の住民を対象に説明会を開催し、東小学校への統合を平成32年度に決定。円滑に統合が出来るよう統合準備協議会を設置した。 																								
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校設立等準備協議会の委員については、学校関係者の他、幅広い意見を聴くため大滝区からの一般公募とし、会議を3回実施した。 ・黄金小学校・東小学校統合準備協議会の委員については、黄金地区の保護者や地域の代表者の他、統合先である東小学校区域の代表者及び黄金地区在住の未就学児童の保護者の代表などとし、円滑に統合が出来るよう会議を2回実施した。また、両校による交流事業も円滑に行うことができた。 <table border="1" data-bbox="253 1167 1337 1408"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校数</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> <td>10校</td> </tr> <tr> <td>中学校数</td> <td>7校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> <td>4校</td> <td>4校</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	小学校数	10校	10校	10校	10校	10校	中学校数	7校	5校	5校	4校	4校
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																		
		H27	H28	H29																				
小学校数	10校	10校	10校	10校	10校																			
中学校数	7校	5校	5校	4校	4校																			
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大滝小学校、大滝中学校については、両校で連携し、義務教育学校設立にむけて準備を進める。 ・黄金小学校のスクールバスについては、児童の安全確保を第一に運行経路等の検討を進める。 ・黄金小学校と東小学校の交流事業については、効果的な取り組みとなるよう、工夫しながら実施する。 																								

(2) 社会教育

⑤ふるさと意識を育て地域づくりに参加する青少年教育の推進

取り組むべき主な施策	心を育む体験活動の推進	達成度の評価	B																	
推 進 方 策	体験活動の推進、相談体制の充実																			
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>青少年の健やかな成長を図るため、青少年が活動できる居場所づくりに努めるとともに、青少年の活動要求に応え、世代間交流や地域交流活動の活性化を図る。</p> <p>青少年の悩みごと相談体制の充実を図るとともに、関係機関との協力により指導・助言を強化する。</p>																				
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年を対象とした事業や研修の実施 ・伊達市青少年指導センターとの連携による相談体制の充実 <p>2. 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験や交流活動を図る「だてっ子遊び学びの教室」の開催 ・親子の交流を図る親子体験教室「親子クッキング」の開催 ・昔遊びなどとおし社会性を養うことを目的とする「あそびましておめでとう」の開催 ・伊達市青少年指導センターが行う街頭指導時の指導・助言と情報を共有化することにより相談体制の充実を図った。 																				
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種事業等は、子ども同士や異世代等とふれあう貴重な機会となり、各種交流や交流活動の活性化を図ることができた。 ・青少年事業活動団体と継続した青少年教育事業の実施に向けた協議を行い、引き続き事業実施へ向け協力を得ることが出来た。 <p>※青少年教育事業への参加者数 334名</p> <p>伊達市青少年指導センターとの連携により相談体制の充実を図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年教育事業 への参加者数</td> <td>947人</td> <td>422人</td> <td>324人</td> <td>334人</td> <td>400人</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	青少年教育事業 への参加者数	947人	422人	324人	334人	400人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値															
		H27	H28	H29																
青少年教育事業 への参加者数	947人	422人	324人	334人	400人															
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年事業を実施する上で、青少年団体の協力が必要不可欠であり、青少年の健やかな成長を図るうえで何が必要な事業であるかを見極めながら継続した事業展開へ向け、引き続き検討が必要である。 ・今後も伊達市青少年指導センターとの連携を図る。 																				

取り組むべき主な施策	青少年団体活動の推進	達成度の評価	A																	
推 進 方 策	青少年団体及び指導者の育成、学習・交流活動の推進																			
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>青少年団体及び青少年健全育成団体間の連携強化を図り、指導者の発掘と養成及び資質の向上を図り、その活用を推進する。</p> <p>団体活動の活性化のため、野外活動等の事業を充実するとともに団体相互の交流や各種講座・講習会などへの参加を促進する。</p>																				
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道が主催するリーダー養成講習会への派遣 ・青少年団体活動等の活性化 ・姉妹都市、歴史友好都市シニアリーダー研修交流会の開催 <p>2. 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道教育委員会主催の養成講座「ジュニアリーダーコース」に青少年3名を派遣 ・伊達favoriteClub、スポーツ少年団及びボーイスカウトの活動に対し、財政的支援を実施 ・スポーツ少年団シニアクラブと情報交換を行うとともに、同クラブ会員を姉妹都市、歴史友好都市シニアリーダー研修交流会へ5名を派遣 																				
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>養成講座に青少年を派遣したことにより、今後の青少年のリーダーシップ及びコミュニケーション等の資質向上が図られた。</p> <p>また、各団体に財政的支援、助言を行うことにより、各団体の活性化が図られた。</p> <p>青少年健全育成に携わる各団体と連携して事業を実施することが出来た。</p> <p>その他、スポーツ少年団シニアクラブの会員の養成及び資質の向上を図ることができた。</p> <p>※道主催リーダー養成講習会及び姉妹都市・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会参加者数 8人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道などが主催する各種リーダー養成講習会及び姉妹都市・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会参加者数</td> <td>6人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	北海道などが主催する各種リーダー養成講習会及び姉妹都市・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会参加者数	6人	9人	8人	8人	7人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値															
		H27	H28	H29																
北海道などが主催する各種リーダー養成講習会及び姉妹都市・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会参加者数	6人	9人	8人	8人	7人															
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成に関わる各団体との連携強化についての検討を進める。 ・リーダー養成講習会への参加の更なる促進を図る。 ・少子化に伴い青少年等団体が減少し、いかにして必要な事業を展開していけるか各団体と協力連携が必要である。 																				

⑥主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進

取り組むべき主な施策	生涯にわたる充実した学習機会の提供	達成度の評価	A																	
推 進 方 策	学習活動の促進、団体活動への支援																			
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>趣味や教養などの学習に加え、現代的課題や地域課題に関する学習内容について取り組む。ボランティア団体等の育成及び活動の支援に努める。</p>																				
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>◎市民講座、だて市民カレッジ、マイプラン・マイスタディ事業受講者数：431名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を喚起する「各種講座の開設」と「学習の場の提供」を目的とした、市民講座を開設し、学習・実技講座を中心に8講座開設（受講者：128名） ・だて市民カレッジは、一般教養講演を4講演、見学研修を1回開講（受講者：121名） ・市民自らが企画し、広く市民に「学習の場」、「学習機会」の提供を実施する団体への支援を目的とした、市民自主学习事業『マイプラン・マイスタディ事業』については、4件（参加者：102名）の事業が実施された ・市職員による宅配講座は101件実施（受講者3,278名） 																				
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>だて市民カレッジ、市職員による宅配講座では、市民の多様な学習ニーズに対し身近な話題となるテーマなどの学習機会を提供することができた。</p> <p>市民講座は、受講後同好会サークルへと発展し学習活動を継続しているグループに発展するなど、生涯学習の活性化に繋がった。</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民講座・市民カレッジの受講者数</td> <td>308人</td> <td>355人</td> <td>411人</td> <td>431人</td> <td>300人</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	市民講座・市民カレッジの受講者数	308人	355人	411人	431人	300人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値															
		H27	H28	H29																
市民講座・市民カレッジの受講者数	308人	355人	411人	431人	300人															
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の多様な学習ニーズに対応するためには、講師等の発掘など情報収集が必要である。 ・市民周知の方法として新聞等を有効に活用することが必要である。 																				

取り組むべき主な施策	高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出	達成度の評価	C															
推 進 方 策	学習機会の確保、社会参加活動の促進																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>高齢者を対象とした学習機会の提供を継続実施するとともに、仲間づくりや生きがいづくりを進めるための団体・サークル活動の育成支援を推進する。</p> <p>自治会や老人クラブ等への積極的な参加を促進する。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の長生大学（伊達及び有珠）の年度末時点の学生数は235名（うち、新入生は17名） ・伊達長生大学、有珠長生大学とも関心の高いテーマや身近なテーマを中心に年間21日間の講義10種類以上の実技講座を実施した。 ・北黄金貝塚公園の草刈作業や施設を訪問する慰問活動を合わせて計4回行った。 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>1年を通して様々な学習や行事を実施することができたことにより、学生相互の研鑽と交流を図ることができた。</p> <p>また、学生がボランティア活動として、草刈や高齢者施設への慰問、青少年育成事業に参加したことにより、幅広い世代との地域交流を図ることができた。</p>																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長生大学学生数</td> <td>263人</td> <td>271人</td> <td>242人</td> <td>235人</td> <td>300人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	長生大学学生数	263人	271人	242人	235人	300人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
長生大学学生数	263人	271人	242人	235人	300人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会において、心身の健康と生きがいは必要不可欠なものであり、学生の多岐にわたる学習ニーズも考えながら講義等の内容を検討し学習計画を構築する必要がある。 ・長生大学の学生数が伸び悩んでおり、特に男性が少ないことから、男性が参加しやすい環境づくり（周知・プログラム内容）を検討する必要がある。 																		

取り組むべき主な施策	家庭・地域の教育力の向上	達成度の評価	A															
推 進 方 策	家庭教育に関する情報の提供、地域の教育力の向上																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>親同士、親子交流の場をつくり、子育ての指導・支援を行うとともに、子育ての悩みに対応できる環境の充実を図る。</p> <p>関係機関、団体等と連携した次代の親となる若い世代を対象とした学習機会の充実を図る。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊達市PTA連合会が行う研究大会に対する財政的支援 伊達市PTA連合会研究大会（参加者：144名） 講演：演題「子どもの生きる力と大人の社会力」 講師：中谷 通恵 氏 家庭教育についての啓発として、「早寝早起き朝ごはん」運動（文部科学省作成リーフレットを新1年生保護者に配布 家庭教育についての啓発として、広報だて8月号に家庭教育に関する記事を掲載 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>伊達市PTA連合会は「PTA活動を通して、保護者と教師が信頼を深め、地域との行動連携を目指しながら、豊かな心を育む地域社会をつくる。」ことを基本目標としており、継続して開催している研究大会の内容充実によりPTA活動の充実を図ることができた。</p> <p>「広報だて」に家庭教育に関する啓発記事を掲載することにより、広く市民に意識啓発することができた。</p> <table border="1" data-bbox="252 1283 1337 1478"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PTA連合会研究大会における参加人数</td> <td>170人</td> <td>114人</td> <td>166人</td> <td>144人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	PTA連合会研究大会における参加人数	170人	114人	166人	144人	100人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
PTA連合会研究大会における参加人数	170人	114人	166人	144人	100人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> PTA活動を継続的に実施するために財政的支援を行うことが必要である。 広く市民に意識啓発するためには、「広報だて」を活用した掲載を継続することが必要である。 地域ボランティアの参画による「地域の教育力向上」を図るため、コミュニティスクールの活用や、昨年度から開設した放課後子ども教室の実施校拡大について検討を進める。 																		

取り組むべき主な施策	図書館機能の充実	達成度の評価	B																											
推 進 方 策	図書館活動の充実																													
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>図書資料の充実に努めるとともに、各種事業を積極的に展開し読書普及に努め、図書館ボランティアとの連携により図書館活動の拡充を図る。</p> <p>図書館運営に際し、市民の意見要望等を反映するとともに、コンピューターシステム活用により利用しやすい図書館づくりに努める。</p> <p>学校や自治会との連携により地域へのサービス向上に努める。</p>																														
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達市立図書館運営協力会を開催（計4回）し、図書館機能などの充実について提言 ・ボランティア団体の協力により、絵本読み聞かせ会、おはなし会、大人も楽しむおはなし会、小学生のためのおはなし会などの行事・イベントを開催したほか、学校・ボランティア団体と連携し、ブックスタート事業、読書感想文・感想画事業及び寄贈図書の小学校巡回事業を展開 ・図書館ネットワークサービス広域化事業（室蘭市・登別市との図書館サービス連携）を継続実施 																														
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校とボランティアとの連携事業を継続し、読書活動の推進や図書館の利用を促進 ・図書館ネットワークサービス広域化事業を継続し、室蘭市・登別市の図書館が所蔵する図書資料の相互貸出・返却サービス及び図書館情報システムを活用した検索・予約等サービスを提供 ・蔵書数及び図書館登録者数において指標を達成しているものの、年間貸出数が指標未達成 <table border="1" data-bbox="247 1299 1343 1559"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館登録者数</td> <td>9,874人</td> <td>14,016人</td> <td>14,845人</td> <td>15,124人</td> <td>13,000人</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>115,266冊</td> <td>119,874冊</td> <td>121,447冊</td> <td>119,809冊</td> <td>120,000冊</td> </tr> <tr> <td>年間貸出冊数</td> <td>173,752冊</td> <td>164,865冊</td> <td>163,635冊</td> <td>151,763冊</td> <td>175,000冊</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	図書館登録者数	9,874人	14,016人	14,845人	15,124人	13,000人	蔵書冊数	115,266冊	119,874冊	121,447冊	119,809冊	120,000冊	年間貸出冊数	173,752冊	164,865冊	163,635冊	151,763冊	175,000冊
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値																								
		H27	H28	H29																										
図書館登録者数	9,874人	14,016人	14,845人	15,124人	13,000人																									
蔵書冊数	115,266冊	119,874冊	121,447冊	119,809冊	120,000冊																									
年間貸出冊数	173,752冊	164,865冊	163,635冊	151,763冊	175,000冊																									
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合った図書資料の整備 ・学校・ボランティアと連携した図書館活動の継続 ・図書館ネットワークサービス広域化事業の継続 ・上記取組に係る周知活動の徹底 																														

取り組むべき主な施策	男女共同参画社会の推進	達成度の評価	B															
推 進 方 策	男女共同参画に関する啓発																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>男女共同参画社会の形成に向け、家庭や地域における男女共同参画意識の醸成のための啓蒙、啓発に努める。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画教養講演会（参加者：29名） 「アナウンサーの仕事と家庭・子育て」 フリーアナウンサー・北海道教育委員会委員 鶴羽 佳子 氏 国際女性デーに合わせパネル展を実施「育児と介護のダブルケア」 胆振女性リーダー養成研修に2名を派遣（埼玉県国立女性教育会館） 北海道立女性プラザ主催の「女性プラザ祭り2017」に市バスを利用し参加（参加者：13名） 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>講演会等事業を開催することにより、男女共同参画社会の意識向上が図られた。 女性国内派遣研修事業では、女性リーダーの人材育成に寄与でき、受講した研修や知識を地域活動に活かすことができた。</p> <table border="1" data-bbox="252 1041 1337 1238"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画推進 講座受講者数</td> <td>17人</td> <td>72人</td> <td>70人</td> <td>29人</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	男女共同参画推進 講座受講者数	17人	72人	70人	29人	45人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
男女共同参画推進 講座受講者数	17人	72人	70人	29人	45人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会をより一層推進するために、関係団体と連携が必要である。 講演会等の参加者が固定化している傾向にあり、若い世代にも共感を呼ぶような内容で年齢層の拡大を図ることが必要である。 平成27年度より、女性国内派遣研修について三市合同事業から胆振教育局主催の胆振管内女性リーダー養成研修に移行したが、これからも研修参加者の確保が必要である。 																		

(3) 芸術文化

⑦個性あふれ、潤いのある地域文化の創造

取り組むべき主な施策	芸術・文化活動の充実	達成度の評価	A																	
推 進 方 策	鑑賞機会の提供																			
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>優れた芸術文化の鑑賞機会を確保するため、演劇、音楽などの舞台鑑賞、絵画、書道等の展示の機会を提供する。</p>																				
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>◎市が主催・共催の芸術公演鑑賞者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため巡回小劇場事業を実施した 小学生低学年対象：児童劇「ピノッキオの冒険」（885名） 小学生高学年対象：児童劇「子象物語（小学生ver.）」（903名） 中学校対象：児童劇「子象物語（中学生ver.）」（960名） ・西いぶり定住自立圏文化事業の開催 クラシック「札幌交響楽団コンサート」（開催地：室蘭市 1,175名） ・文化関係団体との連携による事業の実施として、NPO法人伊達メセナ協会との共催による芸術文化鑑賞機会の提供 華原朋美「コンサートツアー2017」（539名） 杏里 2017 ANRI LIVE（422名） NLT公演「嫁も姑も皆幽霊」～青時雨落つる頃～より（511名） 富良野塾OBユニット（二人の天使）（286名） 渡辺 元佳 展覧会（1,490名） 																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術公演鑑賞者数</td> <td>3,594人</td> <td>6,862人</td> <td>5,450人</td> <td>7,171人</td> <td>6,000人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	芸術公演鑑賞者数	3,594人	6,862人	5,450人	7,171人	6,000人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値															
		H27	H28	H29																
芸術公演鑑賞者数	3,594人	6,862人	5,450人	7,171人	6,000人															
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>巡回小劇場は、主催事業として開催することにより、小中学生が生舞台公演の素晴らしさを実感できる貴重な体験となっている。</p> <p>西いぶり定住自立圏文化事業は、関係市町との連携により札幌交響楽団のクラシックコンサートを提供することができた。</p> <p>市やメセナ協会などによる定期的な舞台・音楽公演を開催することで、芸術文化を鑑賞することが定着してきている。</p>																				
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的、安定的に舞台公演を実施するには、文化団体等に対する財政的支援の継続が必要である。 ・市民ニーズの把握方法等について更なる検討を行う必要がある。 																				

取り組むべき主な施策	市民による創造型文化活動の推進	達成度の評価	B															
推 進 方 策	文化活動の振興																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>市民の文化活動への参加意欲の向上、自らが企画・運営する体制づくりを支援し、地域文化の創造と文化活動を担う人材の育成を目指す。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>◎市民総合文化祭と市民サークル祭りの参加団体数：52団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達市文化協会との共催により市民総合文化祭を開催、文化関係37団体が参加 ・サークル活動等の育成、発表の場の提供として、実行委員会形式による市民サークルまつりを実施した。（15団体、出展人数：199名、来場者：874名） ・文化芸術団体活動への支援として、伊達市文化協会、NPO法人伊達メセナ協会、総合企画FMAへの財政支援の実施 ・伊達市芸術文化表彰規則に基づき、芸術文化賞は1名・1団体、芸術文化奨励賞を2名に授与 ・カルチャーセンターエントランスホールを無料開放し、小規模文化サークル（愛好会、団体）等の作品展示を行っている。 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達市文化協会等への財政的支援により、自主的な文化活動が図られた。 ・市民サークル祭りにおいて、市民が直接企画運営を担うことにより、体験ブースを設けるなど文化活動への参加意欲を喚起することができた。 <table border="1" data-bbox="258 1205 1332 1377"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民文化祭参加団体数</td> <td>47団体</td> <td>39団体</td> <td>38団体</td> <td>37団体</td> <td>45団体</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	市民文化祭参加団体数	47団体	39団体	38団体	37団体	45団体
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
市民文化祭参加団体数	47団体	39団体	38団体	37団体	45団体													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化関係団体が安定的に活動できるよう助言や支援を行う。 																		

⑧芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

取り組むべき主な施策	芸術家の育成	達成度の評価	C															
推 進 方 策	指導環境の充実																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>人材の発掘と活動拠点であるアートビレッジ文化館の施設整備に努める。 芸術文化に対する理解を深めるため、美術展や文化講演会など芸術文化に触れる機会の提供に努める。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>◎成果目標値：画家育成コース20名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵画分野の人材育成を目的として12年目を迎えた『絵画教室』を4月から翌年2月まで実施（受講者46名 ※うち、画家育成コース12名） ・リアリズム絵画セミナー（全4回）を開催（受講者 のべ51名） ・音楽分野の人材育成を目的として11年目を迎えた『伊達音楽アカデミー（マスタークラス）』を2日間開催（受講者11組12名） 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>文化を支える人材育成の推進のため、国際的に活躍する講師陣の協力を得て、高度な人材育成事業を実施することができた。</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画教室受講者数 (画家育成コース)</td> <td>13人</td> <td>11人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	絵画教室受講者数 (画家育成コース)	13人	11人	13人	12人	20人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
絵画教室受講者数 (画家育成コース)	13人	11人	13人	12人	20人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <p>幅広い芸術文化に触れられる移動美術展などについて検討を行う。 講師やセミナー（教室）会場などを安定的に確保するための検討を行う。</p>																		

取り組むべき主な施策	受託美術品等の保管と有効活用	達成度の評価	C															
推 進 方 策	受託美術品等の保管と有効活用																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>寄託制度等について周知を図るとともに、地元作家に関する情報を発信する。</p> <p>受託品を良好な状態で保管するため、保管場所の整備を図るとともに、受託品等の有効活用・公開に向け、関係機関、文化団体等との連携を図る。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄贈及び寄託された美術品等の安全な保管及び展示 ・ 寄贈及び寄託された美術品等の専門家による調査 ・ 北海道立近代美術館の協力を得て、美術品等の調査を実施 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>寄贈および受託作品の保管場所（アートビレッジ文化館内及びカルチャーセンター）において、展示ケース（ガラスケース）等を活用し、展示・紹介することができた。</p> <p>シャーマンコレクションの図録が完成と、平成30年度当初に北海道立近代美術館で同コレクションの展覧会を開催することが決定したことから、同コレクションの知名度を広める機会を得られた。</p> <table border="1" data-bbox="245 1151 1347 1346"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託美術品等を一般公開する割合</td> <td>10%</td> <td>10%未満</td> <td>10%未満</td> <td>10%未満</td> <td>30%</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	受託美術品等を一般公開する割合	10%	10%未満	10%未満	10%未満	30%
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
受託美術品等を一般公開する割合	10%	10%未満	10%未満	10%未満	30%													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <p>だて歴史文化ミュージアムの開館後における展示活用について検討を進める。</p> <p>シャーマンコレクションの一般公開に向けての具体的な作業を進める</p> <p>上記に関連し、シャーマンコレクションの図録を作成した。</p>																		

⑨歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

取り組むべき主な施策	文化財の展示保管環境の整備	達成度の評価	C															
推 進 方 策	文化財の展示保管環境の整備																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>伊達市開拓記念館は、老朽化により展示物への影響が懸念されており、文化財を良好な状態で展示保管できるよう施設整備を行う必要がある。また、市民の「生きがい」につながる各種ソフト事業を展開する新しいタイプの施設づくりを推進する必要がある。そのため、だて歴史文化ミュージアム（旧称：伊達市総合文化館）の建設を行うとともに、オープン後の利用方法などを事前に周知する活動を行う。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だて歴史文化ミュージアムの整備と検討委員会の開催 ・だて歴史文化ミュージアムスタートアップ講演会（119名）の実施 ・文化財（甲冑）の修理 ・開拓記念館の管理運営（来館者数：4,709人） ・埋蔵文化財収蔵庫整備事業の実施 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>だて歴史文化ミュージアムの内装工事に着手し、施工監理を適切に行うことにより、文化財の保存環境を良好に保つための設備を完成させることができた。</p> <p>また、伊達市噴火湾文化研究所内の改修を行い、洗い場、資料整理室、体験学習・講義室を整備したことで埋蔵文化財の整理と活用の機能が向上した。</p> <p>さらに、ミュージアムのメイン展示物となる甲冑1点を修理したことで、貴重な文化財を保存し、活用の道を開いた。</p> <table border="1" data-bbox="245 1473 1347 1668"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊達市開拓記念館 の入館者数</td> <td>8,574人</td> <td>6,030人</td> <td>5,581人</td> <td>4,709人</td> <td>20,000人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	伊達市開拓記念館 の入館者数	8,574人	6,030人	5,581人	4,709人	20,000人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
伊達市開拓記念館 の入館者数	8,574人	6,030人	5,581人	4,709人	20,000人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムの平成31年4月の開館に向けて、展示物の作成、運営方針・体制の整備等を行う必要がある。 																		

取り組むべき主な施策	文化財の保存と積極的活用	達成度の評価	B															
推 進 方 策	文化財の保存と積極的活用																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>先人より受け継いだ文化財は市民共有の財産であり、適正に保存し活用を図りながら次代へ継承していく必要がある。</p> <p>そのため、特別展や体験学習イベントなどを開催するとともに、市民や団体の各種イベントにも積極的に支援することにより、市民や観光客に対して本市の豊かな文化財をPRする。</p> <p>また、文化財の調査研究を進め、郷土史研究や市民の学習に広く活用する。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財および武家文化財の保存と積極的な活用 ・イベント、体験学習などのソフト事業の実施 ・「オコンシベの会」※1と連携し、北黄金貝塚のガイドと体験学習を実施（来園者数：12,177名） ・史跡北黄金貝塚公園で「第20回だて噴火湾縄文まつり」（900名）を開催 ・迎賓館で「くわの会」※2による解説と七夕イベント（90名）、淡交会による呈茶会を開催 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>史跡北黄金貝塚公園では来訪者が1万人を超えているほか、多様なイベントの実施は国や他の自治体から史跡活用の先進事例として評価されている。</p> <p>平成25年度に改修した迎賓館では、来館者への解説と市民主催のイベントを実施することにより、市民に文化財の価値と魅力を伝えることができた。</p> <table border="1" data-bbox="245 1146 1347 1339"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北黄金貝塚公園 利用者数</td> <td>14,304人</td> <td>12,888人</td> <td>11,681人</td> <td>12,177人</td> <td>15,000人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	北黄金貝塚公園 利用者数	14,304人	12,888人	11,681人	12,177人	15,000人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
北黄金貝塚公園 利用者数	14,304人	12,888人	11,681人	12,177人	15,000人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解説ボランティア団体の高齢化が進んでおり、新規会員を増やすことが課題である。 ・復元住居と情報センターの壁面が経年劣化しており、維持補修が課題である。 																		

※1 オコンシベの会：史跡北黄金貝塚におけるガイド団体

※2 くわの会：市指定有形文化財迎賓館におけるガイド団体

取り組むべき主な施策	指定文化財の保護対策と指定化の推進	達成度の評価	C															
推 進 方 策	指定文化財の保護対策と指定化の推進																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>国・道・市指定の文化財の保存と維持管理については計画的に進める必要がある。また、未指定の文化財で重要なものについては積極的な指定により共有の財産の保護を行う必要がある。</p> <p>そのため、国・道の補助制度を有効に利用して重要文化財の保護に努める。また、市指定文化財の計画的な巡回監視、調査により保護・保存に必要な措置を講ずる。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の指定文化財の保護対策と維持管理の実施 ・有珠モシリ遺跡、若生貝塚、旧伊達邸跡（伊達市開拓記念館庭園）の指定化の推進 ・指定文化財指定地の草刈りによる保全を実施 ・各種掘削を伴う工事から埋蔵文化財を保護するため、事前協議・試掘調査を実施 ・旧伊達邸跡の国史跡化へ向けて関係機関との協議を実施 ・市指定記念物サイカチの木（弄月町）の剪定 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>有珠モシリ遺跡については進展がない。</p> <p>若生貝塚は発掘調査報告書の刊行に向けた整理作業を進めている。</p> <p>旧伊達邸跡は古文書の調査成果を文化庁に示すことができ、やや進展している。</p> <table border="1" data-bbox="268 1218 1326 1391"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定史跡の指定件数</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績値と目標値は新規の指定件数</p>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	国指定史跡の指定件数	2件	0件	0件	0件	3件
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
国指定史跡の指定件数	2件	0件	0件	0件	3件													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧伊達邸跡の国指定化へ向けて、引き続き文化庁への働きかけを行う必要がある。 ・史跡化の過程で現開拓記念館庭園内の火気使用の制限が課題である。 ・史跡指定に向けた測量調査・発掘調査（国庫補助事業）の計画策定が必要である。 																		

取り組むべき主な施策	広域的な文化資源の活用の推進	達成度の評価	C															
推 進 方 策	縄文文化の調査研究の推進																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>噴火湾沿岸地域は日本有数の貝塚研究のフィールドであり、近年の発掘調査でも新たな出土品や人骨が発見されている。また、青森県・秋田県・岩手県・北海道と連携し、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界文化遺産へ登録する活動を行っている。そのため、関連自治体や研究機関と連携した文化資源の活用への取り組みが必要である。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道と北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録推進 ・縄文文化の調査研究と成果の還元への推進 ・北海道内の27自治体を対象とした「北海道縄文のまち連絡会」の事務局として事業を実施 ・文化財の活用と人材育成を目的とした動物考古学セミナーを実施（23名） ・北海道博物館と連携した遺跡の発掘調査と市民向けのシンポジウムを開催（200名） ・各種の市民啓発イベントを実施した（計10回） 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>縄文遺跡群の世界文化遺産登録のための推薦書案を改定し、ユネスコ推薦への準備を整えた。また、道内の自治体や旅行者と連携して遺跡を巡るスタンプラリーやバスツアー、札幌市でのイベント（約11,000人）を実施し、調査成果の還元と文化資源のPRをすることができた。さらに、動物考古学セミナーは全国から考古学専攻の学生や、骨に関心のある芸術関係者が参加しており、人材育成に貢献できた。なお、参加者への満足度調査では90%が満足と回答している。</p> <p>ミュージアムの開館の準備のため、平成29年度の市民啓発イベント回数を少なくした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民啓発イベント数</td> <td>19件</td> <td>24件</td> <td>20件</td> <td>10件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	市民啓発イベント数	19件	24件	20件	10件	20件
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
市民啓発イベント数	19件	24件	20件	10件	20件													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産の登録に向けた機運の醸成のためのさらなるPRが必要 																		

(4) スポーツ振興

⑩スポーツ・レクリエーション活動の振興

取り組むべき主な施策	スポーツ活動の促進	達成度の評価	A
推 進 方 策	スポーツ活動の場・機会の確保、スポーツ指導体制の整備促進		
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>各種体力づくり団体、スポーツ団体及びニュースポーツの紹介を行い、団体による各種スポーツ教室の普及促進に努める。</p> <p>レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い活動を支えるため、指導者の確保、養成、団体育成を促進する。</p>			
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ出前講習や大会の開催、スポーツ少年団活動の促進、学校開放事業の推進 ・各種スポーツ団体の連携強化、指導者の育成 <p>2. 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊達市体育協会道南スコール共同企業体やスポーツ推進委員会などとの連携のもと、「ヨガ教室」「種目別（卓球・硬式テニス・夏休み小学生水泳・パークゴルフ・フロアカーリング・スキー）初心者スポーツ講習会」「ふまねっと運動出前講座（17カ所）」等各種教室を開催。 ・「父ちゃん野球大会」「フルムーンパークゴルフ大会」「トリムバレーボール大会」等を開催 ・スポーツ少年団やスポーツ団体、地域体育振興会の活動、管内スポーツフェスタ参加等への財政的支援を行うとともに、「市民スポーツ賞」（19個人、4団体）及び「市民体力づくり運動功績者行賞」（17名）の表彰を実施 ・市内小学校、中学校施設（体育館及びグラウンド）の開放事業を実施（星の丘小中学校を除く） ・各種スポーツ団体が連携・協力し「春一番伊達ハーフマラソン」「ノルディックウォーキング大会」「スキーマラソン大会」などを実施 ・スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会やスポーツリーダー養成講習会などへの派遣、指導者・育成母集団合同研修会などを実施 			

≪平成29年度の評価≫

年齢や体力、健康志向等に応じた各種スポーツの機会の提供と、青少年や地域のスポーツ活動の普及促進を図ることができた。

各種大会等の実施にあたっては、各種スポーツ関係団体との協力が不可欠であり、その連携のもとで事業が展開された。また、各種スポーツ団体においては、講習会への派遣や研修会を実施し、指導者等の育成、資質の向上に資することができた。

※スポーツ教室開催数 19種目、22教室実施

成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値
		H27	H28	H29	
スポーツ教室数	16教室	17教室	24教室	22教室	20教室

≪今後の課題と対応方向≫

- ・温水プールやトレーニング室のみならず施設の有効活用へ向け幅広い年齢層を対象とした各事業を実施する。
- ・健康意識の高揚を図り、ニュースポーツの普及や各種スポーツ・レクリエーションを楽しめる機会と活動環境の整備・充実を図る。
- ・スポーツ・レクリエーションの各種目に対応した指導力の向上と指導者の育成を行う。

取り組むべき主な施策	スポーツ施設の整備・充実	達成度の評価	A															
推 進 方 策	スポーツ施設の整備、スポーツ施設運営の充実																	
<p>《事業目的・取組事項》</p> <p>体育館、プール・トレーニング室、館山野球場及びパークゴルフ場などを計画的に整備するとともに、日常的に活動できる施設の確保に努める。</p> <p>施設の管理にあたり指定管理者制度を導入し、市民の利用形態に応じた利用時間や施設の提供について弾力的な運用を行い、利便性の向上に努める。</p>																		
<p>《平成29年度の事業（取組）の概要と実施状況》</p> <p>1. 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者との連携強化 ・利便性向上のための施設の弾力的運用の推進 <p>2. 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まなびの里サッカー場研修棟屋上防水改修 ・平成28年度から伊達市体育協会道南スコール共同企業体として、総合体育館、プール、体育施設（武道館、関内P G場、館山球場等）の指定管理を一本化した。 																		
<p>《平成29年度の評価》</p> <p>総合体育館、プールの指定管理を一本化し、指定管理者間（体協・スコール）のさらなる連携強化が課題となっているが、積極的な自主事業への取り組みと新たな事業を実施することにより、施設の利用促進が図られ、市民の健康・体力づくりに資することができた。</p> <p>※体育施設等ののべ利用者数 421,762人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">計画策定時 (H21)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">H30 目標値</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ施設等のべ利用者数</td> <td>222,262人</td> <td>416,407人</td> <td>443,395人</td> <td>432,581人</td> <td>400,000人</td> </tr> </tbody> </table>				成果指標	計画策定時 (H21)	実績値			H30 目標値	H27	H28	H29	スポーツ施設等のべ利用者数	222,262人	416,407人	443,395人	432,581人	400,000人
成果指標	計画策定時 (H21)	実績値				H30 目標値												
		H27	H28	H29														
スポーツ施設等のべ利用者数	222,262人	416,407人	443,395人	432,581人	400,000人													
<p>《今後の課題と対応方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の計画的な改修及び備品等の更新計画作成に向けた検討が必要 ・温水プール&トレーニング室、総合体育館全体の利用者数は概ね25万人程度で推移しているものの、より多くの方に利用し続けてもらえる魅力ある施設となるよう指定管理者と連携を図る必要がある。 																		

(5) 達成度の評価一覧

章 節	事業	成果指標	目標値	計画策定時	達成状況	H29	H30	担当
「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価								
1.学校教育								
第1節 社会で生きる実践的な力の育成								
	1.確かな学力の向上をめざす教育の推進	授業がよくわかると答えた児童生徒の割合	小学校:国語95.0%/算数85.0% 中学校:国語95.0%/数学80.0%	小学校:国語75.0%/算数73.6% 中学校:国語72.2%/数学59.7%	小学校:国語78.0% 小学校:算数81.9% 中学校:国語80.3% 中学校:算数76.4%	B	B	指導室
	2.特別支援教育の充実	個別の教育支援計画、指導計画を策定している学校の割合	小学校:100% 中学校100%	小学校100% 中学校60%	小学校:100% 中学校:100%	A	A	指導室
	3.情報教育の充実	コンピュータ1台当たりの児童生徒数	小学校8.0人 中学校9.0人	小学校12.6人 中学校8.0人	小学校:11.2人 中学校:9.8人	B	B	指導室
	4.環境教育の推進	教科の学習以外において環境教育に取り組んでいる学校の割合	小学校100.0% 中学校50.0%	小学校70.0% 中学校14.3%	小学校:100% 中学校:100%	A	A	指導室
	5.キャリア教育の推進	「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	小学校95.0% 中学校80.0%	小学校89.6% 中学校70.0%	小学校:89.2% 中学校:65.0%	C	C	指導室
	6.国際理解教育の充実	英語の授業における英語指導助手の派遣回数	小学校300回、中学校200回	小学校103回、中学校293回	小学校:239回、中学校:209回	B	B	学校教育係
	7.社会の変化に応じた高等学校教育の推進	市内高等学校への進学率	60.0%	54.4%	49.0%	C	C	企画総務係
第2節 豊かな心と健やかな体の育成								
	1.幼稚園教育の充実	小学校との交流活動、公開保育回数	H26年度末でさくら幼稚園閉園により 目標設定なし	5回		—	—	企画総務係
	2.豊かな心を育む教育の推進	人が困っているときは進んで助けていると答えた児童生徒の割合	小学校 80.0%、中学校 80.0%	小学校 75.0% 中学校 71.6%	小学校:85.0% 中学校:80.0%	B	A	指導室
	3.健やかな体を育てる教育の推進	スポーツをすることが好きと答えた児童生徒の割合	小学校 95.0% 中学校 95.0%	小学校 76.4%、中学校 84.6%	小学校:74.6% 中学校:56.6%	B	C	指導室
	4.体験的な学習・活動の充実	総合的な学習の時間において地域の人材や自然環境など教育資源を活かした授業の割合	小学校 40.0% 中学校 30.0%	小学校 21.4% 中学校 14.7%	小学校:38.5% 中学校:29.7%	B	B	指導室
	5.食育・健康教育の推進	朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 96.5% 中学校 94.4%	小学校:96.9% 中学校:93.1%	C	C	学校教育係
	6.生徒指導・教育相談の充実	不登校児童生徒の割合	不登校児童生徒がいなくなる	小学校 0.3% 中学校 2.9%	小学校:0.3% 中学校:2.2%	B	B	指導室
		いじめにあった児童生徒の割合	いじめがなくなる	小学校 1.8% 中学校 0.5%	小学校:10.2% 中学校:0.1%			
第3節 信頼される学校づくりの推進								
	1.開かれた学校づくりの推進	学校を支援する地域組織を設置している学校の割合	小学校 100% 中学校 60.0%	小学校 40.0% 中学校 28.6%	小学校:100% 中学校:100%	A	A	指導室
		学校評議員を設置している学校の割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 90.0% 中学校 85.7%	小学校:100% 中学校:100%			
	2.特色ある学校づくりの推進	総合的な学習の時間において地域の人材や自然環境など教育資源を活かした授業の割合	小学校 40.0% 中学校 30.0%	小学校 21.4% 中学校 14.7%	小学校:38.5% 中学校:29.7%	B	B	指導室
	3.学校間の連携・接続の推進	小中学校間での授業研究会、参観日を実施している学校の割合	小学校 100% 中学校 100%	小学校 40.0% 中学校 85.7%	小学校:100% 中学校:100%	A	A	指導室
	4.教職員の資質向上	教育実践交流・研修会に参加した教員の割合	80.0%	27.6%	61.3%	B	B	指導室
第4節 安全・安心な教育環境づくりの推進								
	1.耐震化、防災機能の充実	耐震化率	小学校 75.0% 中学校 100%	小学校 40.0% 中学校 92.0%	小学校:72.0% 中学校:100.0%	B	B	企画総務係
	2.学校の安全対策の充実	スクールガードリーダーの巡回指導回数	88回	24回	88回	A	A	学校教育係
	3.少子化に対応した学校適正配置の推進	学校数	小学校 10校 中学校4校	小学校10校 中学校7校	小学校:10校、中学校:4校	A	A	学校教育係

章 節	事業	成果指標	目標値	計画策定時	達成状況	H29	H30	担当
2.社会教育								
第1節 ふるさと意識を育て地域づくりに参加する青少年教育の推進								
	1.心を育む体験活動の推進	青少年教育事業への参加者数	400人	947人	334人	B	B	青少年体育係
	2.青少年団体活動の推進	北海道などが主催する各種リーダー養成講習会及び姉妹都市・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会参加者数	7人	6人	8人	A	A	青少年体育係
第2節 主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進								
	1.生涯にわたる充実した学習機会の提供	市民講座・市民カレッジの受講者数	300人	308人	431人	A	A	社会教育係
	2.高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出	長生大学学生数	300人	263人	235人	B	C	社会教育係
	3.家庭・地域の教育力の向上	PTA連合会研究大会における参加人数	100人	170人	144人	A	A	社会教育係
	4.図書館機能の充実	図書館登録者数	13,000人	9,874人	15,124人	B	B	図書館
		蔵書冊数	120,000冊	115,266冊	119,809冊			
		年間貸出冊数	175,000冊	173,752冊	151,763冊			
	5.男女共同参画社会の推進	男女共同参画推進講座受講者数	45人	17人	29人	A	B	社会教育係
3.芸術文化								
第1節 個性あふれ、潤いのある地域文化の創造								
	1.芸術・文化活動の充実	芸術公演鑑賞者数	6,000人	3,594人	7,171人	B	A	社会教育係
	2.市民による創造型文化活動の推進	市民文化祭参加団体数	45団体	47団体	37団体 会員の高齢化等により市民文化祭の参加団体は減少しつつあるが、市民サークル祭については、参加団体数、来場者とも増加している。	B	B	社会教育係
第2節 芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進								
	1.芸術家の育成	絵画教室受講者数(画家育成コース)	20人	13人	12人	C	C	社会教育係
	2.受託美術品等の保管と有効活用	受託美術品等を一般公開する割合	30%	10%	10%未満	C	C	社会教育係
第3節 歴史と文化を活かしたまちづくりの推進								
	1.文化財の展示保管環境の整備	伊達市開拓記念館の入館者数	20,000人	8,574人	4,709人	B	C	文化財係
	2.文化財の保存と積極的活用	北黄金貝塚公園利用者数	15,000人	14,304人	12,177人 利用者の数は目標に達していないが、記念館と迎賓館を含め、文化財の積極的な活用によるイベントの実施により、文化財の価値と魅力を伝えている。	B	B	文化財係
	3.指定文化財の保護対策と指定化の推進	国指定史跡の指定件数	3件	2件	0件	C	C	文化財係
	4.広域的な文化資源の活用の推進	市民啓発イベント数	20件	19件	10件	A	C	文化財係
4.スポーツ振興								
第1節 スポーツ・レクリエーション活動の振興								
	1.スポーツ活動の促進	スポーツ教室数	20教室	16教室	22教室	A	A	青少年体育係
	2.スポーツ施設の整備・充実	スポーツ施設等のべ利用者数	400,000人	222,262人	421,762人	A	A	青少年体育係

4 外部評価

平成30年度（平成29年度対象）教育委員会事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価にあたって、客観性を確保するため、点検評価の方法や結果などについて学識経験を有する者の意見を聴きました。

(1) 学識経験者

(敬称略)

氏名	所属等
葛西正敏	伊達市校長会会長（伊達市立長和小学校長）
山木広幸	伊達市PTA連合会会長（伊達市立関内小学校PTA会長）
小林浩路	伊達市社会教育委員の会議長

(2) 主な意見

平成30年度（平成29年度対象）教育委員会点検・評価報告に関する意見

葛西正敏

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議については、定例会において今日的な教育課題の対応等、様々な教育に関する案件について、各委員の高い関心と問題意識のもと検討・協議されている。

市内学校の行事や伊達市教育実践研修会視察は本市における学校教育の現状を把握するうえで大変有意義と考えるので継続を期待する。また、学校訪問は学校の良さや課題を把握するうえで重要であり、昨年度は1校と少ない。短時間でかまわないので2・3年に一度は、すべての学校を周り学校経営について助言してほしい。

2 「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価

(1) 学校教育

①社会で生きる実践的な力の育成

伊達市学力テストの実施は、確かな学力の定着状況の把握、授業改善の方向性をみるうえで大変有効である。各学校では、学力・学習プランを作成し取り組んでいるが、今後、家庭との連携による学習時間の確保等生活習慣の改善を市全体としての取組に期待したい。

特別支援教育については、特別支援教育コーディネータや伊達市専門家チームを活用し、乳幼児から中学校卒業まで一貫した教育が進められている。今後とも関係機関との更なる連携を期待する。各校に特別支援教育支援員15名、介護員18名が配置され、配慮を要する児童生徒に手厚い支援がなされている。今後は、通常学級

にしながら支援を必要とする児童生徒が増えてくると予想されるので、適切な特別支援教育支援員、介護員の配置を期待する。

情報教育の充実について、保護者と連携した情報モラル教育の継続は必要である。新しい学習指導要領においては、小学校におけるプログラミング教育や小学校中学年からの外国語教育が必修となる。また、主体的・対話的で深い学びのためにも、他市町と比べて遅れているICT環境整備（無線LAN、電子黒板、デジタル教科書、タブレット・・・）の充実を期待する。

環境教育の推進について、小中すべての学校で教育活動全体を通して取り組んでおり、今後もコミュニティ・スクール等を活用して推進してもらいたい。

キャリア教育については、小中の教職員間の共通理解を図り、新学習指導要領に対応したキャリア教育計画の整備を進め、将来の夢や目標をもつ児童生徒を増やしてほしい。

社会に応じた高等学校教育の推進について、市内高等学校のあり方検討委員会において、魅力ある学校、市内の中学生が市内の高等学校に通いたい学校を考え、北海道教育委員会が決定する「公立学校配置計画」に対して、市全体の考えとして要望してほしい。

②豊かな心と健やかな体の育成

豊かな心を育む教育の推進については、各校で全体計画の見直しを行い、特別の教科「道徳」の研修が進められているところである。教科書が位置づけられ、「考え・議論する道徳」への授業改善、道徳の評価について、道徳推進教師を中心とした計画的な研修に期待する。読書については、「朝の読書」がすべての学校で実施されるなど、各学校では読書活動の推進が図られている。今後、テレビやビデオの視聴時間を減らし、家族全員で読書する時間をもうける「家読」の奨励を市全体として行ってもらいたい。

健やかな体を育てる教育の推進については、小中学校全学年で体力テストを実施し、その結果をもとに「体力向上プラン」を作成し、体力・運動能力向上に向けた指導が確実に成果を上げてきている。中学校女子の体力向上を重点に更なる取組の充実を期待する。

体験的な学習・活動の充実については、すべての学校で特別活動や総合的な学習の時間等において、自然、勤労生産、社会奉仕にかかわる体験活動を実施している。更なる活動の充実を期待する。

食育・健康教育の推進については、養護教諭や栄養教諭による保健指導、食育指導がすべての学校で進められている。朝食を毎日食べる児童生徒の割合が高くなってきているが、更なる健康に関する意識啓発の推進に期待している。また、アレルギー対応についてエピペンの研修が実施されている。継続するとともに食育センターと学校の連携を密に、アレルギー対応給食の導入を期待する。

生徒指導・教育相談の充実については、いじめの早期発見・解決に向けた校内研修をすべての学校で開催し、校内体制の充実を図っている。「いじめは、どんな所でもおきる。」を念頭におき、「いじめは絶対にゆるされない。」ということを見学生徒に浸透させ、伊達市いじめ基本方針に則った、市全体としての取組に期待する。

③信頼される学校づくりの推進

開かれた学校づくりの推進については、すべての学校でコミュニティ・スクールを導入し、地域や保護者の意見を学校運営に反映させることができている。今後も学校運営協議会を十分に機能させ、地域人材の活用や情報発信等、開かれた学校づくりの推進に期待する。

特色ある学校づくりの推進については、学校ごとに地域の人、ものを活用した学習活動が行われている。今後も地域の歴史、伝統や文化に触れる学習活動を継続してもらいたい。

学校間の連携・継続の推進については、幼稚園、保育所と小学校、中学校区ごとの小学校、中学校の交流や授業参観が行われ連携が図られている。接続する学校間では、文書や面談によって効果的な引継ぎが行われているが、他の市町で行なわれている就学時簡易テストが実施されていない。特別支援を必要とする児童に対しての対応や入学時の学級措置面談のためにも必要であると考えます。

④安全・安心な教育環境づくりの推進

耐震化、防災機能の充実について、小学校の耐震化率が100%となっていない。各学校で施設、設備の老朽化が進んでいるが、学校統廃合の進捗状況をみながら計画的な改修をお願いしたい。

学校安全対策の充実については、交通安全、防災・防犯の各学校の取組や地域ボランティア・スクールガードリーダーの巡回指導及び伊達市通学路安全推進会議の開催や危険箇所の合同点検により大きな成果を上げていると思われる。また、有珠山に近接する本市の地域特性を踏まえつつ、長和小学校の学校と保護者が連携したひき渡し訓練や地域合同の避難訓練の実施など地域社会全体で取り組む体制づくりを推進してもらいたい。

少子化に対応した学校適正配置の推進については、活力ある学習環境を創出するため、大滝区の義務教育学校、黄金小学校の東小学校への統合を保護者、地域との複数回における協議のあと円滑に統合するため交流事業を積極的に行ったことは評価することができる。今後も新たな課題を解決することを期待する。

(2) 社会教育

⑤ふるさと意識を育て地域づくりに参加する青少年教育の推進

心を育む体験活動の推進については、「だてっ子遊び学び教室」、「親子クッキング」

の開催により、昨年度より若干参加者が増加した。青少年団体の協力をお願いしつつ、子どものニーズを把握した体験活動を期待する。

⑥主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進

生涯にわたる充実した学習機会の提供については、市民講座、だて市民カレッジ、マイプラン・マイスタディ事業、市職員による宅配講座で市民の多様な学習ニーズに対し学習機会を提供している。更なる生涯学習の活性化に繋がるよう情報収集や情報発信が必要である。

高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出については、高齢社会において、心身の健康と生きがいは必要不可欠であるので学生のニーズを考慮し講義内容を検討してほしい。

家庭・地域力の向上については、伊達市PTA連合会の活動に対する財政支援は、PTA活動の充実を図る上でも重要であるため継続した支援をお願いしたい。伊達市PTA連合会の研究大会の内容は、子育ての支援を行う素晴らしい内容であるが、参加数が増えていない。日程設定や情報発信を工夫してほしい。新しい学習指導要領では、社会に開かれた教育課程は強く言われている。学校が家庭や地域と連携するだけでなく、一体となった教育活動が求められている。伊達市すべての学校で導入されているコミュニティ・スクールの活性化を期待する。

図書館機能の充実については、室蘭、登別の図書館ネットワークサービス広域化事業の継続や絵本読み聞かせ会、おはなし会、大人も楽しむおはなし会等、充実した取り組みを行っている。しかし、図書館登録者数は増加しているが年間貸出数が減少している。今後も利用者のニーズにあった図書資料の整備を期待する。子どもに本を読ませるうえで最も有効な手立ては「家読」である。大人が本を読む大切さや必要性をもっとアピールしてほしい。

(3) 芸術文化

⑦個性あふれ、潤いのある地域文化の創造

芸術・文化活動の充実については、児童・生徒に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため巡回小劇場を継続して実施している。触れる機会が少ない伊達の子どもたちにとって貴重な機会であるので継続してほしい。市やメセナ協会などによる定期的な舞台・音楽公演を開催することで、芸術文化を鑑賞することが定着してきている。今後もニーズに対応した開催を期待する。

⑧芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

芸術家の育成及び受託美術品等の保管と有効活用について、二つの施策の達成度の評価がC（着手したが遅滞している、期待ほど効果が上がっていない）である。事業目的・取組事項に考慮する部分があるのか、実施状況に課題があるのか検討し

てほしい。

⑨歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

文化財の展示保管環境の整備については、「だて歴史文化ミュージアム」の内装工事の着手により文化財保存環境を良好に保つ設備が整えられている。噴火湾文化研究所の改修も進んでいる。市の貴重な文化財を保存・活用する整備を今後も続けてほしい。

文化財の保存と積極的活用については、史跡北黄金貝塚公園来訪者が1万人を超え、「だて噴火湾縄文まつり」等、多様なイベントが評価されていることは喜ばしい事である。PR活動の工夫により、利用者増につながることを期待する。

広域的な文化資源の活用の推進については、縄文遺跡群の世界遺産登録推むけ取組が行われている。PRを続けてほしい。

(4) スポーツ振興

⑩スポーツ・レクリエーション活動の振興

スポーツ活動の推進については、各種体力づくり団体、スポーツ団体、スポーツ教室の普及促進に積極的にはたらきかけられている。「春一番伊達ハーフマラソン」「スキーマラソン大会」等、市外にも広く知られるようになってきている。今後も、レクリエーションスポーツから競技スポーツまで幅広い活動を支えてもらいたい。

スポーツ施設の整備・充実については、施設の利用促進が図られ、市民の健康・体力づくりに成果をあげている。今後も計画的な改修及び備品の更新を検討してもらいたい。総合体育館で土日に各種大会が入ると、利用者の車を止める場所が少なく、路上駐車も目立つ。温水プールやトレーニング室、総合体育館、カルチャーセンター利用の市民に多く、快適に利用してもらうため、駐車場の拡張、整備が必要と考える。

山 木 広 幸

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議については、定例会において各委員とも高い関心と問題意識のもと、伊達市の教育に関する様々な案件に関して検討・協議されていることと思います。

また、学校運営協議会の設置に関わっての条件整備や運営方法など学校と地域がより連携を図るように努められたことが良かったと思います。

さらに、市内の小中学校を訪問し、子どもの学びの様子や学校課題等を知る機会を得ることや各学校の課題把握に努めたことは継続してほしいところです。教職員の専門性を高めるための教育実践交流・研修会の開催も意義あるものと感じます。

今後もより一層、学校との連携を密にし、各学校の要望や課題等を適切に把握して、教育活動が効果的に推進されますよう期待します。

2 「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価

(1) 学校教育

①社会で生きる実践的な力の育成

学力向上に向けた取組として「全国学力学習状況調査」や「伊達市学力テスト」の実施は、大変有効であり、結果分析をもとに学力・学習改善プランを作成し、目標値を定めることで児童生徒の学力向上や教職員の資質向上にも役だつと考えられる。平成28年度の分析結果でも具体的な数値が示されたことで各学校とも学習指導の工夫・改善を図る指針として活用できる。

特別支援教育については、伊達市特別支援コーディネーターや専門家チーム会議により乳幼児から中学校卒業まで一貫した支援が行われている。各学校において特別支援教育支援員17名、介助員18名を配置することで手厚い指導ができていると共に教職員の負担軽減にも繋がっていると考えられる。

情報教育の充実については、教育用コンピュータの整備ができたことや情報モラルを身につけさせるための保護者への啓発など環境整備に関して充実していたと考えられる。今後とも学校だけでなく家庭への理解を得られるよう環境を整備してもらいたい。

環境教育の推進については、教育活動全体を通じて各学校が取り組んでおり、伊達市の自然や施設・人材を生かした教育を今後も推進してもらいたい。

キャリア教育の推進については、児童生徒の発達段階に応じて将来の夢や目標をもつために、職場見学や体験学習など地域人材や施設を活用して学習している。今後は、小中学校が連携した活動なども視野に入れながら取り組むことも必要である。

また、国際理解協力の視点からALTの外国語活動の充実も図られており、学習指導要領の改訂にともない積極的に外国人との交流や教職員の英語力の向上に向けた研修会や交流活動などが必須になると思われる。

高等学校のあり方の検討については、伊達市においては高等学校が2校あり各校とも特色ある教育を進めていることは理解している。生徒の将来に向けた教育活動や進路指導の取組をお願いしたい。

幼稚園教育の充実については、保護者の負担軽減を図られるよう努力してもらいたい。

②豊かな心と健やかな体の育成

道徳教育全体計画を全ての学校で見直し、各学校においては授業改善に向けた研修を行っていることは良い実践であると考え。今後も、計画的な研修を各学校で推進してもらいたい。

健やかな体を育てる教育については、各学校で「体力向上プラン」を策定し、それをもとに体力向上を図ることはとても良いことだと思う。結果をもとに、日常的に運動する習慣を身につけるように取り組んでももらいたい。

体験的な学習・活動の充実に関しては、地域人材を活用し様々な活動が行われているのが分かる。今後も、地域人材や施設、自然を利用できる環境整備を継続して取り組んでいただきたい。

食育・健康教育の推進については、栄養教諭による栄養指導やアレルギーに関する研修会等、健康に関する教育を推進してきたことがわかる。食育センターも稼働し、なお一層児童生徒の健康のために給食を充実されることを期待している。

生徒指導・教育相談の充実については、北海道教育委員会によるいじめアンケート調査を行い、指導・公表している。深刻な事態にならないように各校・教育委員会・医療機関など保護者の理解を得ながら早期発見・早期解決に向けて取り組んでももらいたい。また、教育相談においても早期発見をする上では大切な取組であるので積極的に行ってほしい。

③信頼される学校づくりの推進

開かれた学校づくりの推進については、学校評価の公開や関係者評価の全学校での実施など、様々な取組をしていると考える。また、全ての学校がコミュニティ・スクールの指定を受け、地域や保護者の意見を学校運営に反映することができたことは素晴らしいことである。今後も、コミュニティ・スクールを生かした地域人材の活用を推進して欲しい。

特色ある学校づくりの推進については、各校ともその地域の自然・施設・歴史・人材を活用し計画的・効果的に教育活動を進めていると考える。

学校間の連携・接続の推進については、全ての中学校区で小中学校との学習指導・

生徒指導・授業研究・児童交流など計画的に進めている。小中学校の連携を進めることで、教職員も発達段階に応じた学習や体験の意義が研修でき児童理解や授業改善にも繋がっている。また、幼稚園・保育園との連携においても、低学年と幼稚園・保育所との交流の機会を持ちスムーズな接続に繋がっているため今後とも教職員同士で連携し計画してもらいたい。

教職員の資質向上については、各種研修会や実践交流会の参加・個人研修を通して資質向上を図ることが子どもに還元できることになるので積極的な参加を奨励して欲しい。

④安全・安心な教育環境づくりの推進

望ましい教育環境を整備するために老朽化している施設・設備の改修工事や補修を進めることは大変重要なことである。耐震化率が小学校 72%となっているので100%に近づくようお願いしたい。

学校の安全対策の充実については、各校とも交通安全教室・防災、防犯教室の実施など計画的に実践されている。また、スクールガードリーダーの通学路等の巡回指導・危険箇所の点検と児童生徒の安全のため対策がとられているので良いことだと思う。地域の見守りに関しても広がっており、今後より一層充実されるようお願いしたい。

少子化に対応した学校適正配置の推進では、保護者や地域の意見交換や協議を行い理解が得られるよう慎重に進めていただきたい

(2) 社会教育

⑤ふるさと意識を育て地域づくりに参加する青少年教育の推進

心を育む体験活動の推進については、各種事業等で子どもや異世代とふれあう企画が多く良いことだと思う。また、青少年教育事業においても 334 名の参加者で関心が高く、今後とも様々なアイデアを出し楽しい企画を展開してもらいたい。

青少年団体活動の推進では、各種リーダー養成講習会への派遣されたことは今後の活動を推進する上で大切なことであり、今後も積極的に派遣要請を行い地域に還元できるように育成してほしい。

⑥主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進

生涯にわたる充実した学習機会の提供については、市民の多様な学習ニーズに対しての宅配講座や市民講座など充実していると思われる。実績は 431 名の参加と高く、今後もより魅力的な講座の開設や人材発掘など企画してもらいたい。

高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出については、長生大学での講義や実技講座の実施など、生きがいをもって参加している高齢者の方も多と思う。また、学生ボランティア活動の積極的推進は、今後も続けていただきたい。

家庭・地域の教育力の向上については、伊達市PTA連合会が行う研究大会に対する財政支援は、更なるPTA活動をする上で、大きな役割を果たしている。また、研究大会や各種研修会において、「広報だて」に掲載予定を掲載したことは、参加者への啓発にもつながったので今後とも継続した取組をしてほしい。

図書館機能の充実については、図書館運営協力会の実施でより利用しやすい機能になることは良いことである。また、ボランティア団体による読み聞かせ、イベントなどの開催等、本が好きになる環境がつけられることは今後とも継続してもらいたい。

男女共同参画社会の推進については、講演会・パネル展等充実した事業が行われている。課題にもあるように、幅広い年代層のニーズを考慮した企画をお願いしたい。

(3) 芸術文化

⑦個性あふれ、潤いのある地域文化の創造

芸術・文化活動の充実については、芸術公演鑑賞者数が7,171名ということで、大きな成果があったとも考える。小中学生を対象とした巡回小劇場は本物の芸術に触れる機会として今後も大切にしていきたい。また、市民向けの定期的な芸術鑑賞会（舞台・音楽など）は、財政的な負担はあるが、市民が楽しみしているものであり可能な限り継続してほしい。

市民による創造型文化活動の推進については、市民の文化活動への参加意欲の向上を図る上で大切なものであり、サークル活動・文化芸術団体活動など今後も継続的に支援してほしい。

⑧芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

芸術家育成としての機会を得る窓口としての役割が大きく有意義な活動であると考えられる。課題にもある移動美術展についても、無理のない範囲で推進していただければと考える。

受託美術品等の保管と有効活用については、対応方向にもあるように、だて伊達歴史文化ミュージアム開館後、それを活用しながら寄贈及び寄託された作品の展示・紹介を引き続きお願いしたい。

⑨歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

文化財の展示保管環境の整備については、平成31年4月のだて歴史文化ミュージアム開館を目指した準備が確実に進められている。文化財を保護する上で大切な事業であり、今後も充実した活動を期待する。

文化財の保存と活用については、北黄金貝塚・開拓記念館など市民ボランティアの会の協力により、身近に学べる機会としては有効であると考えられる。

指定文化財の保護対策と指定化の推進については、伊達市にある数々の歴史的な財産を維持管理するには、専門家による研究の推進や国や道による補助が必要不可欠と思われる。

広域的な文化資源の活用の推進については、世界遺産の登録に向けた各種講演や事業に向けて確実に進むことができていると考える。今後も伊達市の活性化につながるのを期待したい。

(4) スポーツ振興

⑩スポーツ・レクリエーション活動の振興

スポーツ活動の場・機会の確保・スポーツ指導体制の整備促進については、伊達市体育協会やスポーツ推進委員会の連携のもと、市民がスポーツに親しむ機会を提供することは健康づくりや生きがいをもたらしている。今後とも充実させてほしいと考える。また、「春一番伊達ハーフマラソン」「ノルディックウォーキング」「スキーマラソン大会」などは、市民だけでなく全国・全道から参加する人も多く、知名度も高いので運営面での工夫をしながら無理なく継続してほしい。指導者育成に関しては、各種団体へ働きかけ指導技術を高めるように研修会なども積極的に取り組んでもらいたい。

スポーツ施設の整備、運営については、体育館・プール・パークゴルフ場・野球場と利用者も多い。利用者促進の意味でも運営方法について、より一層の取組をお願いしたい。

1 教育委員会の活動状況

教育委員会会議については、定例会及び臨時会において、各委員の高い関心と問題意識のもと、教育に関する様々な案件について検討・議決されていることと思う。

定例会の開催予定や傍聴の案内、会議録等をホームページに掲載するなど、透明性を示している。また、学校訪問や学校行事の視察等を通して、子どもたちの学びの様子や各学校の要望や課題等を的確に把握すること、更には、パブリックコメントの実施や社会教育施設の訪問など、市民の教育ニーズや今日的な教育課題に対する闊達な議論を期待する。

2 「伊達市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価

(1) 学校教育

① 社会で生きる実践的な力の育成

確かな学力の向上をめざす教育の推進では、全ての学校で全国学力・学習状況調査や伊達市学力テストの結果を分析した学力・学習改善プランを策定し、学習指導の工夫・改善が図られている。今後も、教職員の授業に対する自己評価と児童生徒や保護者による授業評価を比較分析し、学習指導の工夫・改善を期待する。

特別支援教育の充実については、支援体制や支援活動が充実しており、今後とも教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援活動が期待される。

情報教育の充実については、情報化の進展に伴い、児童生徒に対する情報活用能力の育成とともに、情報モラル教育を継続していくことが重要と考える。

環境教育の推進については、教育活動全体を通して計画的に取り組んでいることが伺える。更に、コミュニティ・スクール等を活用しながら継続していくことが期待される。

キャリア教育の推進については、将来の社会的・職業的自立のため、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育計画に基づいた実践化と、地域との結びつきが重要であると考ええる。

国際理解教育の充実については、外国語活動が小学校に導入されたことを踏まえ、児童の興味・関心を高める指導方法の充実とともに、ALTの活用が重要な役割を担っていると考える。

社会の変化に応じた高等学校教育の推進については、伊達市内2校の高等学校がそれぞれ特色ある教育を進めているが、急激な少子化に対応していくためには、子どもたちや保護者、地域住民がどのようなタイプの学校の設置を望んでいるか、十

分な情報収集と論議が必要であるとする。

②豊かな心と健やかな体の育成

幼稚園教育の充実では、保護者の負担軽減のため、就園奨励費補助の継続をお願いしたい。

豊かな心を育む教育の推進については、道徳の教科化に向け、道徳教育全体計画を見直し、道徳の教科書をもとにした年間指導計画の整備と評価について、道徳教育推進教師を中心に計画的な研修の推進が期待される。また、読書活動の推進については、「朝の読書」等の継続とともに、伊達市立図書館の利用や家庭の協力を得て読書活動の奨励に期待する。

健やかな体を育てる教育の推進については、全ての学校で児童生徒の実態に応じた「体力向上プラン」を作成しており、体力・運動能力の向上に向けた指導の充実が期待される。

体験的な学習・活動の充実については、特別活動や総合的な学習の時間等において、自然、勤労生産、社会奉仕に関わる体験活動を継続していくことが大切であるとする。

食育・健康教育の推進については、全ての学校で養護教諭や栄養教諭を中心に、各種保健指導やフッ化物洗口、食育指導が実施されており、更に、学校と家庭が連携した取組が期待される。

生徒指導・教育相談の充実については、学校全体で取り組む生徒指導体制が重要であるとする。いじめ防止については、いじめアンケート調査の実施とともに、いじめの早期発見・解決に向けた校内研修と校内体制の充実が求められる。また、不登校児童生徒は様々な要因を抱えており、不登校児童生徒サポートハウスを活用しながら、不登校対策訪問アドバイザーやスクールカウンセラー等のアドバイスを得ながら取り組んでいく必要があるとする。

③信頼される学校づくりの推進

開かれた学校づくりの推進については、学校評価を学校だよりやHPで公表したり、地域に向けた公開授業を実施するとともに、学校評価の分析や地域・保護者の意見を学校運営に反映させている。

特色ある学校づくりの推進については、学校ごとに地域の歴史や伝統、文化資源を活用した授業や地域の人材を活用した学習活動が行われており、地域理解につながっているものとする。

学校間の連携・接続の推進については、全ての中学校区で小中学校の学習指導や生徒指導、授業研究会の交流、児童生徒交流などを計画的に実施している。また、幼稚園・保育所と小学校低学年との交流など、今後とも効果的な引継ぎを期待する。

教職員の資質向上については、教職員の各種研修会への参加や研究指定校の指定

によって公開研究会を開催することは各校の実践交流が深まるとともに、教職員の資質向上に結びつくなど、子どもたちの指導に還元できるものであり、積極的な参加を期待する。

④安全・安心な教育環境づくりの推進

耐震化、防災機能の充実については、老朽化した施設・設備の改修工事や修繕を進め、子どもたちや地域住民が安心して学校施設を利用できるよう施設の安全管理に努めていただきたい。また、小学校の耐震化率100%を期待する。

学校の安全対策の充実については、交通安全教室や防災・防犯教室が計画的に実施されている。また、通学路パトロールボランティアやスクールガードリーダーの巡回指導など、地域ぐるみで児童生徒を見守る取組が更に広がりを見せるよう期待する。

少子化に対応した学校適正配置の推進については、保護者や地域の住民を対象に意見交換や協議を行って、慎重に進めていただきたい。

(2) 社会教育

⑤ふるさと意識を育て地域づくりに参加する青少年教育の推進

心を育む体験活動の推進については、青少年を対象とした各種事業や研修が実施され、子ども同士や異世代等とふれあう貴重な機会となり、青少年の健やかな成長や社会性を養う上で積極的な参加の奨励が大切であると考えます。

青少年団体活動の推進については、各種リーダー養成講習会等への派遣によって、今後の青少年団体のリーダーシップの発揮や団体活動の活性化が期待できる。少子化に伴う青少年団体の減少が懸念される中で、伊達市の次代を担うリーダーの養成は、財政的な支援も含め、今後も継続していくべき大切な事業と考える。

⑥主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進

生涯にわたる充実した学習機会の提供については、市民の趣味や教養などの学習活動に加え、多様な学習ニーズに対応した身近な話題となるテーマの講座や市職員による宅配講座では多くの参加者があり、受講後、自主的なサークルやグループとして学習活動を継続していることこそ生涯学習の活性化につながっているものと考えます。今後とも魅力ある講座の企画や講師等の発掘に期待する。

高齢者が健やかで豊かに学ぶ機会の創出については、長生大学の学生が身近なテーマ、関心の高いテーマを中心に受講しやすい講義や実技に配慮し、仲間づくりや心身の健康と生きがいづくりを進める役割を果たしている。学生数が伸び悩んでいることから、気軽に参加できる環境づくりや運営面の検討が必要であると考えます。

家庭・地域の教育力の向上については、PTA活動は親同士の情報交流を深め、子育ての悩みや子育て相談の場となっている。伊達市PTA連合会が行う研究大会

では各校の活動の交流とともに研修成果の発表交流は家庭教育にとって大きな成果を上げており、今後ともPTA研究大会に対する財政的支援をお願いしたい。また、家庭教育や子育て情報を広報紙でPRすることは意識啓発につながるものと考え

る。
図書館機能の充実については、ボランティア団体の協力による絵本読み聞かせ会、おはなし会などの行事や各種イベントが開催されている。また、ブックスタート事業、読書感想文・感想画事業、及び寄贈図書の小学校巡回事業などでは、本に親しむ環境づくりや図書館の利活用促進の役割を果たしている。今後、市民の意見や要望を反映した伊達市立図書館あり方検討委員会がまとめた提言書の内容や伊達市立図書館運営協力会から出された提言内容を取り入れ、図書館機能が充実していくことを期待する。

男女共同参画社会の推進については、講演会等事業を継続することによって、男女共同参画意識の高揚が図られるとともに、胆振女性リーダー養成研修にリーダー派遣を行うことによって人材育成と研修内容の環流が図られることを期待する。

(3) 芸術文化

⑦個性あふれ、潤いのある地域文化の創造

芸術・文化活動の充実については、児童生徒に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため巡回小劇場事業を実施しており、今後も継続実施が望まれる。また、文化団体とNPO法人伊達メセナ協会の共催で実施している芸術・文化鑑賞会は定期的・安定的に舞台公演が実施できるよう財政的支援の継続が必要であると考え

る。
市民による創造型文化活動の推進については、市民の文化活動への参加意欲向上を図るためには大切なものであり、市民総合文化祭を開催するとともに、市民の自主的なサークル活動の育成と発表の場を提供するために、引き続き、財政的支援が必要であると考え

⑧芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

芸術家の育成については、絵画と音楽の2分野で国際的に活躍している講師陣の協力を得て、高度な育成事業を展開している。本事業の継続的な実施とともに、基礎的分野の人材育成についても検討すべきと考える。

受託美術品等の保管と有効活用については、受託品を良好な状態で保管するとともに、だて歴史文化ミュージアムでの展示活用が期待される。

⑨歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

文化財の展示保管環境の整備については、伊達市開拓記念館の老朽化により、展示物への影響が懸念されており、文化財の良好な保存とともにだて歴史文化ミュージアムでの展示活用が期待される。

文化財の保存と積極的活用については、史跡北黄金貝塚公園や迎賓館などが多彩なイベントや体験活動を実施し高い評価を得ている。今後は、解説ボランティアの高齢化が進んでいるため、新規会員や外国人観光客向けガイドの発掘・養成が必要であると考ええる。

指定文化財の保護対策と指定化の推進については、計画的な保護対策と維持管理を進めるとともに、指定化に向けた専門家や関係機関との事前協議や発掘調査等を進めていくことが必要であると考ええる。

広域的な文化資源の活用の推進については、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた啓発イベントやPR活動を進めている。今後とも、遺産登録に向けた活動を推進するとともに、展示施設の整備と説明員や体験活動の指導員の発掘・育成・確保が必要であると考ええる。

(4) スポーツ振興

⑩ スポーツ・レクリエーション活動の振興

スポーツ活動の促進については、年齢や体力、健康志向等に応じた各種スポーツ大会やスポーツ教室が開催されており、ニュースポーツの普及やスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会を提供するなど、幅広い年齢層を対象としたスポーツ活動の普及促進が図られている。また、「春一番伊達ハーフマラソン」「おおたき国際ノルディックウォーキング大会」「おおたき国際スキーマラソン大会」は、市民はもとより、全道・全国からの参加者に楽しんでもらえるよう運営面の工夫、各スポーツ団体やボランティアの協力を得て、知名度の高い大会になることを期待する。

スポーツ施設の整備・充実については、総合体育館、温水プール、パークゴルフ場、サッカー場などのスポーツ施設が充実しており、利用者も多く、市民の健康・体力づくりに大きく寄与しているものと考ええる。